

石川県の絶滅のおそれのある野生生物
いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉
(別冊 保護を要する植物群落)

2020年

石 川 県

まえがき

我が国で最初の植物分野のレッドデータブックは、日本自然保護協会が中心となって調査・作成・発行したものである。植物種については、我が国における保護上重要な植物種および植物群落の研究委員会植物種部会が1989年に「我が国における保護上重要な植物種の現状」を、植物群落については同群落部会が1996年に「植物群落レッドデータブック（我が国における緊急な保護を必要とする植物群落の現状と対策）」を公表したのが始まりである。

その後、植物種については環境庁/環境省が事業を引き継いで発行、更新し、都道府県においても独自にデータブックを作成・更新するにいたったことは、喜ばしい。

しかし、植物群落については、現在、都道府県でレッドデータブックを作成・更新しているのは石川県を含めて十指に足りず、国もこれを実施していない現状にある。生物の多様性に関する条約の趣旨にもとづいて、保護を要する植物群落の動態把握の重要な意義についての認識は同じであろうが、手法の標準化について困難があると思われる。

本県の場合は、環境庁編. 1979. 日本の重要な植物群落 北陸版（Ⅱ.石川県）所載の個別群落を基礎に、保護を要する植物群落（具体的群落）を特定・追加し、レッドデータブックの作成・更新を重ねて来た。評価の手法は前記保護上重要な植物種および植物群落の研究委員会群落部会（1996）によっている。

この手法についても議論はあるであろうが、20年余にわたり継続した一つの方法としてある程度の普遍性を有するものとする。

生物の多様性に関する条約第7条は、生物多様性の特定及び監視について条項であるが、付属書Iはその区分を次のように定めている。

1. 生態系及び生息地
2. 種及び群集
3. ゲノム及び遺伝子

いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉は、2000年版、2010年版を引き継ぐとともに、体裁上、維管束植物（本冊）と保護を要する植物群落（別冊）に分けられているが、この別冊の対象が付属書Iに記された群集（communities）にあたることはいうまでもない。特に、今後の課題である生態系及び生育地に接続するものとして、重要であることを指摘したい。

石川県絶滅危惧植物調査会
主任調査員 古池 博

目 次

まえがき

(1) 概説	1
(2) 凡例	1
(3) 調査対象群落一覧 (記載ページ目次)	3
(4) 群落の個別の記載	7
(5) 調査結果の統計	40
(6) 結び	42
文献	42
関係者名簿	43

(1) 概 説

「保護を要する植物群落」は、前回の調査（レッドデータブック2010〈植物編〉）（2010年版）と同じ群落を対象とし、若干を追加した。対象とした全群落名と類別は表1に掲げる通りである。なお、付言するまでもないことであるが、石川県内に保護を要する群落がそれ以外に存在しないという意味ではない。

今回の調査（いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉）（2020年版）では、前回調査（2010年版）からほぼ10年間、前々回調査（レッドデータブック2000〈植物編〉）（2000年版）からの約20年の経過のなかで、群落がどのように変化するかを確かめることを主たる目的とすることとしたからである。したがって、調査対象とした群落は、2010年版と共通の単一群落96、個体群17、群落複合13、小計126群落と、新規に追加した6群落の、合計132群落である。

それらに関する保護管理状態の統計は表2、表3の通りであった。また、それらに対する対策の緊急性に関する統計は表4、表5に掲げた。今回調査（2020年版）、前回調査（2010年版）、前々回調査（2000年版）の数字は、所定欄に掲載した。今回の調査結果との比較のために、これを掲げた。

個別群落ごとの記述・説明は、単一群落、個体群、群落複合、新規追加群落の順、各カテゴリーの内部においては、索引番号の順序に従って配列した。

(2) 凡 例

具体的植物群落

本冊子に掲載する「保護を要する植物群落」は、環境庁（編）（1979）に掲載する特定群落をはじめ、すべて具体的群落である。すなわち、具体的植物群落とは生きている植物体の集団で、空間的に固有の大きさを占め、特定の種構成と階層を始めとする構造と明確あるいは不明確な境界を有する存在である。また、時間的にも変動、生起する。具体的植物群落は、任意の時点において、さまざまな群落測度により計測することができる。具体的群落は、それが置かれた環境（人間活動を含む）を反映する。具体的植物群落から、統計的理論的に抽出した群落は、抽象的群落と呼ばれるが、本調査の調査対象には含めない。

調査対象とした植物群落の記載様式

調査対象とした保護を要する群落の記載様式は、前々回（2000年版）、前回（2010年版）の例により、下記の通りとした。

なお、石川県では石川県植物誌編纂委員会（1997）をはじめ、植物群落についての資料が比較的整備されているのでそれらとの整合性について配慮した。

索引番号：掲載する各具体的群落を索引するための固有番号で、本版（2020年版）から採用した。環境庁（編）.1979.日本の重要な植物群落 北陸版 II. 石川県特定植物群落. 等に記載の各群落の対照番号との区別を明確にするため、索引番号とした。

群落コード：石川県の植物群落の相観による分類体系におけるコードで、2000年版から使用している。次の手順で発生させたものである。

①単一群落および個体群の場合

石川県植生誌（石川県植生誌編纂委員会、1979）の群落目次（2）の群系の番号2桁（10未満の場合は、数字（例：8）の左に0を追加する（例：08））+群落番号2桁（10未満の場合は、数字（例：8）の左に0を追加する（例：08））の4桁。ただし、特に秘匿の必要がある場合には、群落番号をxxで置き換えてある。

②群落複合の場合

植物群落レッドデータブック（我が国における保護上重要な植物種および植物群落分科会、1996）の群落複合のコード2桁を準用。ただし、さらに他の群落または群落複合が加わる場合には、記号+をコードの右側に追加する。

名称：特定植物群落の場合には件名をそのまま付した。件名は次の文書に準拠した。

①環境庁（編）（1981）日本の重要な植物群落の分布（全国版）.

②環境庁（編）（1988）日本の重要な植物群落II（北陸版）.

③1999年度に完了した第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査（石川県）報告書の特定植物群落調査票（追加調査）」に記載された件名.

また、特定群落でない群落については、このレッドデータブック作成のために設けた件名を付した。

なお、個体群などで生育地を秘匿する必要がある場合には、「**のサクライソウ**」（例）が件名である。

相観による群落名:原則として、石川県植生誌編纂委員会(1997)石川県植生誌.の群落目次(2)による名称と該当する英語名(下記の①に同じ)を援用した。石川県植生誌に記載のないものについては、次の方法によった。

①群落(全層群落)については「優占種の和名+群落」とする。併記する英語名は「優占種の学名+community」と記した。

②個体群については「対象となる植物種の和名+群落」とする。併記する英語名は「対象とする種の学名+community」と記した。

③群落複合については、わが国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物群落分科会(編著)(1996)が採用した群落複合の名称(日本語)を援用し、併記する英語名も同様とする。ただし、もし、該当する名称が見つからない場合には、その群落複合を構成する群落複合または単一群落のうち、「代表する群落または群落複合の名称」に「ほか」を付加するものとし、併記する英語名についても同様に扱い、「ほか」に代えて、数学記号「+」を付すものとした。

種組成による群落名:原則として、石川県植生誌編纂委員会(1997)の群落目次(1)による名称(日本語名)ならびに併記する植物社会学上の名称、またはドイツ語名は同書本文の当該群落の記載から援用した。石川県植物誌に記載のないものについては、次の方法によった。

①群落については、国際植物社会学命名規約の定めるところにより命名された名称およびその日本語名を記載。

②個体群については、その個体群が構成に加わる植物群落(全層群落)について①と同様に扱った。

③群落複合については、各構成群落を包括するより上位の階級の、群落単位の名称とその日本語名を記載。ただし、それが適当でない場合には、構成群落の代表的な群落単位の名称をあげて、数学記号「+」を付加した。この場合、日本語の名称は、代表となった群落の日本語名に「ほか」を付加した。

類別:対象群落を単一群落、個体群、群落複合のいずれかに区別した。

①単一群落はまとまりのある具体的な全層群落で、植物社会学命名規約上のいずれかの植生単位に分類できるものである。

②個体群は特定の具体的な全層群落のある階層(複数可)を占める特定の種の個体群を指す。その階層の優占種であることを要しない。

③群落複合はなんらかの内在的な関係によって空間的に結合した複数の単一群落の複合体である。この内在的な関係の中核となるものは遷移による関係で、いわゆる群落遷移的空間結合を形成し、群落環によって相互に移行しあう関係にある。しかし、環境要素の傾度にもとづく単純な植生配置、いわゆる植生帯状配置のような場合も含める。わが国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物群落分科会(1996)にあげられた群落複合以外の群落複合も取り上げる。

位置:同具体的群落が存在する土地の地名(2019年末現在)。その土地のメッシュコード(測地成果2011準拠)。大面積の場合には、現地調査を実施した場所の場合がある。

選定理由:主として特定群落の選定理由に準拠した。しかし、それ以外のもので重要なものもあるので、それぞれ具体的に記述した。

保護管理:わが国における保護上重要な植物種および植物群落研究委員会植物群落分科会(1996)に準拠し、現地調査の結果にもとづき、下記のとおり、①保護管理状態と②保護対策の緊急性を記した。

①保護管理状態は次の5段階で評価した。

- | | |
|-------|-------------------------|
| 1 壊滅 | 群落壊滅状態にある |
| 2 劣悪 | 保護状態は悪い |
| 3 不良 | 保護状態は良くないが、一部良いところもある |
| 4 やや良 | 良く保護されているが、一部良くないところがある |
| 5 良好 | 良く保護されている |

②新たに必要な対策の緊急性については次の4段階で評価した。

- | | | |
|---|---------|--|
| 4 | 緊急に対策必要 | 緊急に対策を講じなければ群落が壊滅する |
| 3 | 対策必要 | 対策を講じなければ群落の状態が徐々に悪化する |
| 2 | 破壊の危惧 | 現在は保護対策が功を奏しているが、将来は破壊の危険が大きい |
| 1 | 要注意 | 当面、新たな保護対策は必要ない(監視必要)あわせて、おもな危険性と保護対策上の留意点を具体的に指摘した。 |

特記事項: 国立公園などの法的制度、行政的規制の適用について記述した。特に、特定植物群落については対照番号を記載した。また、その他の事項で重要なものを記載した。

なお、該当群落の群落測定資料である植生調査票は、刊行により公表された42ページの文献に掲載されている。なお、今回の調査にあたっては原則として当該群落について群落測定をおこなったが、できなかった場合もある。

執筆者名: 該当群落の執筆者を()内に記した。複数の調査員による調査結果であっても、実際の執筆者の氏名を記した。正規の野外調査が通行不能で行われなかった場合や、その他の理由により実施できなかった場合は、他の調査員や主任調査員(古池 博)が、補充調査の結果や別件調査の結果等を援用して記載した。

(3) 調査群落一覧(記載ページ目次)

本調査で対象とした、植物群落は表1の通りである。この中には、この20年間(2000年版、2010年版参照)にすでに壊滅した群落や、壊滅から回復しつつある群落も含めてある。表1は、各具体的群落の掲載ページの目次として使うことができる。

表1 保護を要する植物群落総括表(石川県の植物群落レッドリスト 2020)

索引番号	群落コード	件名	類別	掲載ページ
1	0101	須須神社奥宮のアカガシ林	単一群落	7
2	0101	天日陰比咩神社アカガシ林	単一群落	7
3	0101	甲斐崎神社のアカガシ林	単一群落	7
4	0101	刈安笠野神社アカガシ林	単一群落	7
5	0104	杉平諏訪神社ウラジロガシ林	単一群落	8
6	0104	医王山神社のウラジロガシ林	単一群落	8
7	0104	檜見八幡神社のウラジロガシ林	単一群落	8
8	0104	金剣宮のウラジロガシ林	単一群落	8
9	0104	宮竹日吉神社のウラジロガシ林	単一群落	9
10	0106	笹波八幡神社スダジイ林	単一群落	9
11	0106	須須神社のスダジイ林	単一群落	9
12	0106	越坂日吉神社のスダジイ林	単一群落	9
13	0106	沖波諏訪神社のスダジイ林	単一群落	10
14	0106	加夫刀比古神社のスダジイ林	単一群落	10
15	0106	滝神社のスダジイ林	単一群落	10
16	0106	出雲神社のスダジイ林	単一群落	10
17	0106	末吉日吉神社スダジイ林	単一群落	11
18	0106	高爪神社のシータブ林	単一群落	11
19	0106	神代神社のスダジイ林	単一群落	11
20	0106	酒井日吉神社のスダジイ林	単一群落	11
21	0106	気多神社のシータブ林	単一群落	12
22	0106	余地八幡神社のスダジイ林	単一群落	12
23	0106	多田八幡神社のスダジイ林	単一群落	12
24	0106	波自加弥神社のスダジイ林	単一群落	12
25	0106	観音下のシーカシ林	単一群落	13
26	0106	津波倉神社のスダジイ林	単一群落	13
27	0106	出水神社のスダジイ林	単一群落	13
28	0106	幡生神社のスダジイ林	単一群落	13

索引番号	群落コード	件名	類別	掲載ページ
29	0106	馬場住吉神社のスダジイ林	単一群落	14
30	0106	滝ヶ原八幡神社のスダジイ林	単一群落	14
31	0106	横北白山神社のスダジイ林	単一群落	14
32	0106	長谷田白山神社のスダジイ林	単一群落	14
33	0106	上原白山神社のスダジイ林	単一群落	15
34	0107	徳保八幡神社のタブ林	単一群落	15
35	0107	片姫神社のタブ林	単一群落	15
36	0107	高倉彦神社のシイ-タブ林	単一群落	15
37	0107	輪島前神社のタブ林	単一群落	16
38	0107	櫛原北代比古神社のタブ林	単一群落	16
39	0107	南志見住吉神社のタブ林	単一群落	16
40	0107	関野鼻の千本椿	単一群落	16
41	0107	菅原神社のタブ林	単一群落	17
42	0107	唐島のタブ林	単一群落	17
43	0107	椎葉円比咩神社のタブ林	単一群落	17
44	0107	大野湊神社のタブ-ケヤキ林	単一群落	17
45	0107	犬ノ沢八幡神社タブ林	単一群落	18
46	0107	鹿島明神社の森林	単一群落	18
47	0108	赤瀬白山神社のツクバネガシ林	単一群落	18
48	0302	白山蛇谷のクロベ-ヒメコマツ林	単一群落	18
49	0303	犀川源流地域のクロベ-ヒメコマツ林	単一群落	19
50	0304	大泊八幡神社クロマツ林	単一群落	19
51	0307	打呂のヒノキアスナロ林	単一群落	19
52	0307	白滝のヒノキアスナロ林	単一群落	19
53	0308	大峯神社のモミ林	単一群落	20
54	0308	七海白山神社のモミ林	単一群落	20
55	0308	赤蔵神社のカゴノキを含むモミ林	単一群落	20
56	0308	錦城山モミ林	単一群落	20
57	0405	柳田白山神社のイヌシデ林	単一群落	21
58	0409	押水町今浜カシワ林	単一群落	21
59	0414	猿山のシナノキ-エゾイタヤ林	単一群落	21
60	0414	藤懸神社のケヤキ林	単一群落	21
61	0414	鹿頭八幡神社のタブ-ケヤキ林	単一群落	22
62	0414	佐野神社のケヤキ林	単一群落	22
63	0416	チブリ尾根のサワグルミ林	単一群落	22
64	0424	宝立山のブナ林	単一群落	22
65	0424	黒峰のブナ林	単一群落	23
66	0424	石動山のブナ林	単一群落	23
67	0424	御山神社のイヌシデ、ブナ林	単一群落	23
68	0424	菊水のブナ林	単一群落	23
69	0424	大杉谷国有林のブナ林	単一群落	24
70	0424	チブリ尾根のブナ林	単一群落	24
71	0424	丸石谷のスギを含むブナ林	単一群落	24
72	0424	鈴ヶ岳のブナ林	単一群落	24
73	0701	花坂のサクラバハハンノキ林	単一群落	25
74	0901	白山のオオシラビソ林	単一群落	25
75	1101	水越島と大島のアカメガシワ林	単一群落	25

索引番号	群落コード	件名	類別	掲載ページ
76	1105	浜佐美のセンダン群落	単一群落	25
77	1402	須田のハイネズ	単一群落	26
78	1403	塩屋-片野のハマゴウ群落	単一群落	26
79	1404	七尾北湾、大島のハマナス群落	単一群落	26
80	1404	竹松砂丘のハマナス群落	単一群落	26
81	1605	犀川源流地域のダケカンバ林	単一群落	27
82	1607	白山のハイマツ低木林	単一群落	27
83	2006	南龍ヶ馬場の湿地植生	単一群落	27
84	2007	南龍ヶ馬場のハクサンコザクラ群落	単一群落	27
85	2301	のヤチカワズスゲ湿原	単一群落	28
86	2726	片野海岸のノハナショウブ群落	単一群落	28
87	3104	舳倉島のエゾツルキンバイ群落	単一群落	28
88	3309	大島のハマウド群落	単一群落	28
89	3402	舳倉島のヒゲスゲ群落	単一群落	29
90	3604	下黒川のみズバショウ	単一群落	29
91	3604	大倉岳のみズバショウ	単一群落	29
92	3604	大嵐谷のみズバショウ	単一群落	29
93	3604	根蔵谷のみズバショウ	単一群落	30
94	3604	横谷のみズバショウ	単一群落	30
95	3604	取立平のみズバショウ	単一群落	30
96	4502	安宅住吉神社のクロマツ林	単一群落	30
単一群落	小計	96		
97	0304	松島、さざえ島のイワタイゲキ	個体群	31
98	0304	岩倉山マルバマンサク群落	個体群	31
99	0427	のサクライソウ	個体群	31
100	0431	打呂のヨコグラノキ	個体群	31
101	0701	池崎のサクラバハンノキ	個体群	32
102	1306	赤瀬町のヒユウガミズキ林	個体群	32
103	2209	舳倉島のアカネムグラ	個体群	32
104	2602	のムシトリスミレ	個体群	32
105	2714	のサギソウ群落	個体群	33
106	2733	日尾池群のミツガシワ	個体群	33
107	2735	医王山大池のムジナスゲ	個体群	33
108	3503	のイワギク	個体群	33
109	35xx	のセッコク自生地	個体群	34
110	3606	のエチゼンダイモンジソウ	個体群	34
111	3813	のフジバカマ群落	個体群	34
112	4502	鉢ヶ崎のハマドクサ	個体群	34
113	4502	柴垣のハマオミナエシ	個体群	35
個体群	小計	17		
114	03	犀川源流地域のブナ林	群落複合	35
115	03	目附谷の自然植生	群落複合	35
116	03	千丈平、清水谷のブナ林	群落複合	35
117	05	白山山頂部の風衝地植生	群落複合	36
118	11	眉丈山の湿地植生	群落複合	36
119	11	堀松・矢蔵谷・大津の湿地植生	群落複合	36

索引番号	群落コード	件名	類別	掲載ページ
120	20	増穂ヶ浦の海浜群落	群落複合	36
121	21+	海士岬の海浜植生	群落複合	37
122	21	上野の塩湿地植生	群落複合	37
123	31+	シヤク崎の海浜植生	群落複合	37
124	32	飯田湾の海草群落	群落複合	37
125	32	九十九湾口の海草群落	群落複合	38
126	32	七尾湾の海草群落	群落複合	38
群落複合	小計	13		
(2010年版掲載群落総計:126)				

127	0104	夕日寺菅原神社のウラジロガシ林	単一群落	38
128	0420	チブリ登山道のトチノキ林	単一群落	38
129	2810*	のオニバス	個体群	39
130	3317*	のセンダイハギ	個体群	39
131	3318*	のヒメヒゴタイ	個体群	39
132	2605*	のトウカイコモウセンゴケ	個体群	39

2020年版新規追加群落 小計 6

*石川県植生誌(1997)の目次2に追加。

群落総計 132

(4) 群落の個別の記載

調査対象とした具体的群落の個別の記載は、下記の通りである。

1 須須神社奥宮のアカガシ林

相観による群落名	アカガシ群落 Quercus acuta community
種組成による群落名	ヤブコウジースダジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0101)
- **位置** 珠洲市三崎町寺家 (メッシュコード:5637-22-16)
- **選定理由** アカガシ林は日本海側では新潟県が北限であるが、石川県では樹林を形成している箇所は少ない。本群落はその一つであり、県内で最も北に位置し、分布からも重要かつ貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 周辺林域の伐採、植林は極力控え、山伏山全体の植生として管理維持することが望ましい。
- **特記事項** 石川県指定天然記念物、能登半島国定公園第2種特別地域、航行目標保安林、特定植物群落 (対照番号:5)
(小野ふみゑ)

2 天日陰比咩神社アカガシ林

相観による群落名	アカガシ群落 Quercus acuta community
種組成による群落名	ヤブコウジースダジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0101)
- **位置** 鹿島郡中能登町二宮 (メッシュコード:5536-37-64)
- **選定理由** 面積約0.5ヘクタールとやや広い範囲にアカガシが優占し、ヤブコウジースダジイ群集のアカガシ亜群集に識別される自然度の高い社叢林である。
- **保護管理** 保護管理状態:2 劣悪。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 イノシシによる攪乱が激しく、捕獲檻の設置など緊急に何らかの対策が必要である。急傾斜の場所なので土砂の流失や崖崩れの防止、周辺植生 (スギ植林) の保護、アカガシの若木の保護育成が望まれる。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号:107)
(大畑 弘)

3 甲斐崎神社のアカガシ林

相観による群落名	アカガシ群落 Quercus acuta community
種組成による群落名	ヤブコウジースダジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0101)
- **位置** 河北郡津幡町大熊 (メッシュコード:5536-06-52)
- **選定理由** アカガシの巨樹からなる自然度の高い社叢林で、ヤブコウジースダジイ群集アカガシ亜群集に分類され、面積0.3ヘクタールの県内有数のアカガシ林である。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 アカガシの老樹はいずれも幹の中心部が空洞化し、風による倒木が懸念されるのでその防止策が必要である。また、実生が見当たらないので林内への若木の補充も必要であろう。
- **特記事項** 石川県指定天然記念物、 特定植物群落 (対照番号:41)
(濱野一郎)

4 刈安笠野神社アカガシ林

相観による群落名	アカガシ林 Quercus acuta community
種組成による群落名	ヤブコウジースダジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0101)
- **位置** 河北郡津幡町刈安 (メッシュコード:5536-06-03)
- **選定理由** 1984年の調査時は面積0.4ヘクタールのアカガシを優先する自然度の高い社叢林であったが、国道バイパスの造成、神社の火災 (不審火) などによりアカガシ群落の大部分は失われた。
- **保護管理** 保護管理状態:2 劣悪。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 林域が広いので、アカガシなどの若木の植樹をし、積極的な復元措置がのぞまれる。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号:109)
(濱野一郎)

5 杉平諏訪神社のウラジロガシ林

相観による群落名	ウラジロガシ群落 Quercus salicina community
種組成による群落名	ヒメアオキ-ウラジロガシ群集 Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- 類 別 単一群落 (群落コード:0104)
- 位 置 輪島市杉平町 (メッシュコード:5636-07-53)
- 選定理由 県内でのウラジロガシ林は標高40~250mがおおよその植生域であり、本件は低標高のウラジロガシ林として貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 ウラジロガシの生育する斜面へモウソウチクの侵入が進み、斜面下方のウラジロガシは勢いがなく、一部枯損している。モウソウチクの除去が必要と思われる。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:105)

(小野ふみゑ)

6 医王山神社のウラジロガシ林

相観による群落名	ウラジロガシ群落 Quercus salicina community
種組成による群落名	ヒメアオキ-ウラジロガシ群集 Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- 類 別 単一群落 (群落コード:0104)
- 位 置 金沢市二俣町 (メッシュコード:5436-66-71)
- 選定理由 面積は約0.2ヘクタールであるが、高木層のウラジロガシの被度は大きく、低木層にはヒメアオキが優占している典型的なヒメアオキ-ウラジロガシ群集でかつてより貴重な存在であった。約10年前のナラ枯れ被害と台風被害から現在、大幅に回復した。
- 保護管理 約10年前、台風被害とカシノナガキクイムシ*Platypus quercivorus*の食害によって壊滅的な打撃を受けたが回復中である。
- 保護管理 状態:3 不良。 保護対策の緊急性:1 緊急に対策必要。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:42)

(古池 博)

7 樫見八幡神社のウラジロガシ林

相観による群落名	ウラジロガシ群落 Quercus salicina community
種組成による群落名	ヒメアオキ-ウラジロガシ群集 Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- 類 別 単一群落 (群落コード:0104)
- 位 置 金沢市樫見町 (メッシュコード:5436-55-86)
- 選定理由 県内の数少ないウラジロガシ林の一つである。高木層のウラジロガシの被度は大きく、低木層にはヒメアオキが優占している典型的なヒメアオキ-ウラジロガシ群集で貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良 保護対策の緊急性:3 要注意。 ナラ枯れ被害があり、枯木の伐採、搬出が行われたが、一部に過剰なインパクトが加えられた。なお、過去・現在とも社叢林として保護されてきている。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:111)

(古池 博)

8 金剣宮のウラジロガシ林

相観による群落名	ウラジロガシ群落 Quercus salicina community
種組成による群落名	ヒメアオキ-ウラジロガシ群集 Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- 類 別 単一群落 (群落コード:0104)
- 位 置 白山市鶴来日詰 (メッシュコード:5436-55-30)
- 選定理由 かつては社殿背後の急斜面に立地する原生林に近い群落として知られ、手取川沿岸の崖面・傾斜地の麓に発達する植生を代表する典型的な森林群落と評価されてきたが、近年のカシノナガキクイムシの虫害により壊滅状態となった。その後、鎮静化して約10年が経過し、植生の失われた部分は再生の過程にある。残存樹のほか、ウラジロガシの芽生えもあり、10年後には相観的にも復活しつつあることが認められるものと推定する。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 獅子吼・手取県立自然公園、石川県指定天然記念物。特定植物群落 (対照番号:71)

(古池 博)

9 宮竹日吉神社のウラジロガシ林

相観による群落名	ウラジロガシ群落 Quercus salicina community
種組成による群落名	ヒメアオキ-ウラジロガシ群集 Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- **類別** 単一群落 (群落コード:0104)
- **位置** 能美市宮竹町 (メッシュコード:5436-54-37)
- **選定理由** 手取川扇状地に近い能美丘陵麓部に位置する社殿周辺の社叢林。ヤブツバキやヒメアオキを低木層に持つ日本海側のウラジロガシ林の典型である。伐採、植え込みなどにより昔の姿は見られない。特に約10前のナラ枯れ被害が発生し、その後放置されている状態である。ウラジロガシの幼木やナラ枯れした樹木のヒコ生えが認められるので、再生の可能性は大きい。
- **保護管理** 保護管理状態:3 不良 保護対策の緊急性:1 要注意
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号:73)

(古池 博)

10 笹波八幡神社スタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジ-スタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位置** 珠洲市笹波町 (メッシュコード:5637-21-08)
- **選定理由** 典型的な日本海側型のヤブコウジ-スタジイ群集である。各階層にスタジイが生育し、草本層にはヤブコウジが高い被度で優占している。県内では隔離分布するアサダを含んでいる。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 現在、保存状態は良好であるが、社叢林内への立ち入りが懸念される。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号:103)

(大畑 弘)

11 須須神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジ-スタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位置** 珠洲市三崎町寺家 (メッシュコード:5637-12-97)
- **選定理由** 石川県は暖温帯から冷温帯へ移行する地域にあり、その中であって本群落は分布の最も北に位置し、重要かつ貴重である。モチノキ亜群集に下位区分されている。
- **保護管理** 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 社殿及び境内の整備は完了したものと思われ、今後はみだりに林内に立ち入らず、現状を維持することが大切である。隣接する竹林の侵入には気をつけたい。
- **特記事項** 国指定天然記念物、能登半島国定公園第1種特別地域、いしかわの森50選 (48. 須須の森)、特定植物群落 (対照番号:1)

(小野ふみゑ)

12 越坂日吉神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジ-スタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位置** 鳳珠郡能登町越坂 (メッシュコード:5537-71-69)
- **選定理由** スタジイの優占する社叢林で、亜高木層ではモチノキ、低木層ではヤブツバキ、草本層ではテイカカズラが優占する。典型的なヤブコウジ-スタジイ群集であると思われる。
- **保護管理** 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 社叢横手に道路があり、風の影響を受けやすい。安易な人の立ち入りも心配である。
- **特記事項** 能登半島国定公園第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号:15)

(垣内信一)

13 沖波諏訪神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 鳳珠郡穴水町沖波 (メッシュコード:5537-60-53)
- 選定理由 高木層のスタジイは高さ15~18m、胸径は最大で54cmと林全体がまだ若い。原植生に復元していく遷移の途中相として、今後の推移を見守っていくに値する社叢林である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 林内での植林を控えるとともに、現在植林されているものについては、できれば除去することが望ましい。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:17)

(小野ふみゑ)

14 加夫刀比古神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 穴水町円山 (メッシュコード:5537-60-32)
- 選定理由 古くから漁業関係者の海上からの目標とされてきた森林で、スタジイが優占する社叢林である。スタジイには巨木も含まれ、この土地の原植生を示すものと考えられている。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 円山全体を自然植生で維持することが望ましい。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:18) 補充調査 (Google Earth 2020による判読):スタジイ林の下辺に環周道路が建設されているが、円山の位置づけを明確にし、自然状態を維持することが望まれる。2010年版の評価を維持。 閲覧日付:2020年8月10日。 (主任調査員)

15 滝神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 輪島市門前町深見 (メッシュコード:5536-75-78)
- 選定理由 海岸からやや離れたところに位置し、亜高木層にヤブツバキ、ヤブニッケイが優占するよく保護された群落で北限のノコギリシダ、ムギランを含み貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 全体的によく保全、維持されているが参道が整備されたとき、オオユリワサビ(準絶滅危惧)の個体数が減少した。なお、本群落の上部にスギ植林が見られるが、このスギが伐採されたときには注意が必要である。
- 特記事項 石川県指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:56)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版〈植物編〉(2010) (高木政喜) 補充調査 (Google Earth 2020による判読):深見川左岸斜面一帯はスギ植林が活発で、竹林も至近距離に迫っている。2010年版の評価を維持。緩衝地帯を確保するなどの措置が望ましい。 閲覧日付:2020年8月9日 (主任調査員)

16 出雲神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 河北郡津幡町種 (メッシュコード:5536-06-71)
- 選定理由 面積は0.3ヘクタールと小規模であるが、スタジイの巨木を含む自然度の高い社叢林で、県内ヤブツバキクラス域の自然植生を示す代表的なもののひとつである。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 スタジイ群落内に植えられたスギ、ヒノキアスナロの除去および林周辺のマント群落の保護に留意すべきである。
- 特記事項 津幡町指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:40)

(濱野一郎)

17 末吉日吉神社スタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード: 0106)
- 位 置 羽咋郡志賀町末吉 (メッシュコード: 5536-46-12)
- 選定理由 ヤブツバキクラス域を代表する自然林として優れた景観を有しており、特に優れた巨木はないが、亜高木層にサカキが優占するスタジイ群落として貴重である。
- 保護管理 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 急傾斜地でもあり、崖崩れ等の注意が必要であろう。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号: 106)。 到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年: 2009年、資料名: いしかわレッドデータブック改訂版 (植物編) (2010) (高木政喜)

18 高爪神社のシータブ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード: 0106)
- 位 置 羽咋郡志賀町大福寺 (メッシュコード: 5536-65-27)
- 選定理由 高木層にはタブノキ、スタジイが混交し、亜高木層はヤブツバキ、ヒサカキ、ヤマモミジからなり、低木層、草本層にはそれぞれヒメアオキ、ヤブコウジ、シキミなどがみられる自然度の高い社叢林である。全体的にはヤブコウジースタジイ群集に属するものである。
- 保護管理 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 林床の植生が失われている場所がある。林内でのスギ植林等の拡大を止め、林床の植生保全に努め、失われた箇所の回復を待つ。
- 特記事項 社叢林縁にかなり枯損した志賀町指定天然記念物のタブノキ1本がある。特定植物群落 (対照番号: 61)。 到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年: 2009年、資料名: いしかわレッドデータブック改訂版 (植物編) (2010) (高木政喜)
補充調査 (Google Earth 2020による判読): 酒見川と丘陵地山麓の境界に立地し、山側斜面スギ植林であるが特に緩衝地帯を設けるなどの措置は講じられていない。閲覧日付: 2020年8月10日。 (主任調査員)

19 神代神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード: 0106)
- 位 置 羽咋郡志賀町神代 (メッシュコード: 5536-46-11)
- 選定理由 高木層にスタジイ、亜高木層にヤブツバキがよく発達した自然度の高い社叢林で、この地域のヤブツバキクラス域の自然を代表する典型的な景観を有している。
- 保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。
人の立ち入りのためか、低木層、草本層の破壊が多少見られる。 人の立ち入りを制限し、垣根などを施すのが適当と思われる。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号: 31) (濱野一郎)

20 酒井日吉神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード: 0106)
- 位 置 羽咋市酒井町 (メッシュコード: 5536-36-08)
- 選定理由 面積は0.2ヘクタールと小さいが、高木層のスタジイは幹周300cmを越す巨樹が多く、ヤブコウジースタジイ群集に分類される自然度の高い社叢林で、この地域のヤブツバキクラス域の自然を代表する典型的な景観を有している。
- 保護管理 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 2 破壊の危惧。
全国屈指のスタジイの巨木「酒井の馬場椎」が枯死して以来、保護管理が不十分なこととスタジイの老齢化もあって林内はやや荒れ気味である。周辺群落の保護も含めて管理の強化が必要である。
- 特記事項 碓石ヶ峰県立自然公園普通地域、特定植物群落 (対照番号: 33) (濱野一郎)

21 気多神社のシータブ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位置** 羽咋市寺家町 (メッシュコード:5536-36-11)
- **選定理由** タブノキ、スタジイ等の照葉樹からなり、本県ヤブツバキクラス域の植生を代表する極めて自然度の高い社叢林で、3ヘクタールと面積も大きく、学術上貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 周辺開発やマント群落の損傷がこれ以上進まないよう努力し、風上に当たる周辺地への植林も考慮すべきである。
- **特記事項** 国指定天然記念物、能登半島国定公園第1種特別地域、第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 37)
(濱野一郎)

22 余地八幡神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位置** かほく市余地 (メッシュコード:5536-15-09)
- **選定理由** ヤブコウジースタジイ群落に識別される比較的自然度の高い社叢林である。面積は約0.4ヘクタールと比較的大きいほうだが、遷移の途中と思われる。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 旧社殿後に植えられたヒノキアスナロ、スギは今のうちに伐採するなどして自然度を高める必要がある。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号: 65)
(濱野一郎)

23 多田八幡神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位置** かほく市多田 (メッシュコード:5536-05-48)
- **選定理由** 面積約0.2ヘクタール、スタジイの巨木を多数有し、ヤブコウジースタジイ群落に識別される自然度の高い社叢林である。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 面積が狭いので、近接地に植林したスギ、ヒノキアスナロを徐々に計画的に処理していく必要がある。
- **特記事項** かほく市指定天然記念物、 特定植物群落 (対照番号: 66)
(濱野一郎)

24 波自加弥神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位置** 金沢市花園八幡町 (メッシュコード:5436-75-67)
- **選定理由** 面積約0.3ヘクタール、高木層にスタジイが優占するやや自然度の高い社叢林で、郷土景観を代表するもののひとつである。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 林内の下刈りを止めること。高木層のクロマツが枯損しており、林床や林の周辺に人手が加わって自然度がやや損なわれているので、今後の保護管理に注意すべきである。また、モウソウチクが侵入しないよう周辺のモウソウチクを毎年伐採する必要がある。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号: 67)
(高木政喜)

25 観音下のシーカシ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類 別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位 置** 小松市観音下町 (メッシュコード:5436-44-02)
- **選定理由** 標高70~200mの比較的乾燥した斜面に立地し、分布の上限近くに生育するスタジイ群落として位置付けられる。また、ツクバネガシを構成種に持つ点でも注目される。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 急斜面に位置しているため、人の出入りがきわめて少なくよく保護されているが、隣接している採石場が拡大するようであれば、破壊が懸念される。
- **特記事項** 石川県自然環境保全地域、特定植物群落 (対照番号:79)

(山田利明)

26 津波倉神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類 別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位 置** 小松市津波倉町 (メッシュコード:5436-43-15)
- **選定理由** 各階層にスタジイが認められ、更新の良いヤブコウジースタジイ群集で、この地域の典型的なものである。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 下刈り、ヒノキ植林などが見られる。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号:88)

(山田利明)

27 出水神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類 別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位 置** 加賀市橋立町 (メッシュコード:5436-42-14)
- **選定理由** 鬱蒼 (うっそう) とした社叢林で高木層をはじめ各階層にスタジイが出現し、草本層はヤブコウジが優占する典型的なヤブコウジースタジイ群集である。石川県の貴重な群落である。
- **保護管理** 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 隣地が公園開発されているため、人が入らないように柵を作ることが必要である。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号:90)

(山田利明)

28 幡生神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- **類 別** 単一群落 (群落コード:0106)
- **位 置** 小松市吉竹町 (メッシュコード:5436-43-68)
- **選定理由** 加賀南部のヤブコウジースタジイ群集で、各階層ともスタジイを構成種に含む。高木層にネジキを構成種にもつなど、低木を含めてツツジ科の植物種が多い。大きな面積を持つ社叢林である。林床が荒れてきたところがある。
- **保護管理** 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 よく保存維持されているが、隣地に広い駐車場が造成され、人の出入りが多くなることが懸念される。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号:87)

(山田利明)

29 馬場住吉神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 小松市馬場町 (メッシュコード:5436-33-84)
- 選定理由 加賀南部のヤブコウジースタジイ群落で、各階層ともスタジイを構成種に含む。高木層にアカシデをまじえる。南加賀にはスタジイ林にアカシデを持つ場合がしばしば見られる。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 周囲を市街地や道路、畑地に囲まれているため、防災のための伐採など、人の手が加えられることが懸念される。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:94)

(山田利明)

30 滝ヶ原八幡神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 小松市滝ヶ原町 (メッシュコード:5436-33-63)
- 選定理由 加賀南部のヤブコウジースタジイ群落で、低木層にホツツジを有する。自然度の高いスタジイ林である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 地域住民によりこまめに管理されており、落ち葉や下草があまり見られない。低木層、草本層の発達が見込めない。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:95)

(山田利明)

31 横北白山神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 加賀市横北町 (メッシュコード:5436-33-41)
- 選定理由 サカキやホソバカナワラビ・ヘラシダなど石川県では分布の少ない植物を含む、自然度の高いスタジイの原生林である。ホソバカナワラビースタジイ群落への接近を示す。
- 保護管理 保護管理状態:5 良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 社叢林として保護されている。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:96)

(山田利明)

32 長谷田白山神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群落 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 加賀市山中温泉宮の杜1丁目 (メッシュコード:5436-32-18)
- 選定理由 南加賀のスタジイ自然林として貴重なものである。林床にムベが自生している。
- 保護管理 保護管理状態:5 良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 社叢林として保護されている。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:98)

(山田利明)

33 上原白山神社のスタジイ林

相観による群落名	スタジイ群落 Castanopsis cuspidata var. sieboldii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0106)
- 位 置 加賀市山中温泉上原町 (メッシュコード:5436-32-19)
- 選定理由 残り少なくなったスタジイの原生林として貴重である。林床にいわゆるナタデラカンアオイが自生している。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良 保護対策の緊急性:1 破壊の危機 2 モウソウチクの林内への侵入がある。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:99)

(山田利明)

34 徳保八幡神社のタブ林

相観による群落名	タブノキ群落 Machilus thunbergii community
種組成による群落名	イノデータブノキ群集 Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 珠洲市高屋町 (メッシュコード:5637-22-30)
- 選定理由 冬季の季節風に対して風背側に位置し、亜高木層にヤブツバキが優占する群落である。県内に点在するタブノキ群落として、階層構造もよく発達し、保存状態も良く貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 「千本椿」として観光地化していること、海岸側遊歩道 (シャク崎~高屋) へのアプローチ道が社叢林縁を通過していることなどにより、人の立ち入りの増加による影響が懸念される。
- 特記事項 珠洲市指定天然記念物、能登半島国定公園第2種特別地域、いしかわの森50選 (49. 徳保原生の森)、特定植物群落 (対照番号:7)

(小野ふみえ)

35 片姫神社のタブ林

相観による群落名	タブノキ群落 Machilus thunbergii community
種組成による群落名	イノデータブノキ群集 Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 珠洲市三崎町森腰 (メッシュコード:5637-12-76)
- 選定理由 タブノキの優占度・群度が極めて高い常緑広葉樹林で、草本層にカラタチバナ、オモト等が見られる。「オニヤブソテツ亜群集 (里見)」に下位区分される貴重な群落である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 境内整備は完了したものと思われ、今後はみだりに林内に立ち入らず、現状を維持することが大切である。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:2)

(小野ふみえ)

36 高倉彦神社のシータブ林

相観による群落名	タブノキ群落 Machilus thunbergii community
種組成による群落名	ヤブコウジースタジイ群集 Ardisio-Castanopsietum sieboldii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 珠洲市蛸島町 (メッシュコード:5637-12-24)
- 選定理由 海岸側にタブノキ、斜面上部及び内部にスタジイが生育する常緑広葉樹林で、比較的よく保全されている。「モチノキ亜群集 (里見)」に下位区分され、貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 自然災害による被害の整備は最小必要限に留めるとともに、社叢林外周の管理は階層構造、マント群落の破壊にならないように配慮すべきである。
- 特記事項 珠洲市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:4)

(小野ふみえ)

37 輪島前神社のタブ林

相観による群落名 タブノキ群落
Machilus thunbergii community

種組成による群落名 イノデータブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 輪島市輪島崎町 (メッシュコード:5436-07-81)
- 選定理由 冬季の季節風に対して風背側斜面に成立し、イノデータブノキ群集に属するタブ林で、地域の原植生を残している林分として貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 林内への不要な立ち入りを控え、現状を維持することが望ましい。斜面上部からのヤダケの侵入には気をつけたい。
- 特記事項 能登半島国定公園第3種特別地域、特定植物群落 (対照番号:23)

(大畑 弘)

38 櫛原北代比古神社のタブ林

相観による群落名 タブノキ群落
Machilus thunbergii community

種組成による群落名 イノデータブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 輪島市深見町鷲嶽 (メッシュコード:5636-07-98)
- 選定理由 冬季の季節風に対して風背側斜面に成立するタブ林で、地域の原植生を残している林分として貴重であったが、1991年台風19号によって大きな被害を受けた。現在は徐々に植生回復が進んでおり、その推移を見守っていくうえでも貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 1991年9月の台風19号による被害の斜面は現在遷移の途上にある。植林などの人為的な攪乱をしないことが大切である。
- 特記事項 石川県指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:22)

(大畑 弘)

39 南志見住吉神社のタブ林

相観による群落名 タブノキ群落
Machilus thunbergii community

種組成による群落名 イノデータブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 輪島市里町 (メッシュコード:5637-10-12)
- 選定理由 タブノキの純林として貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 林内への不要な立ち入りを控え、現状を維持することが望ましい。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:14)

(大畑 弘)

40 関野鼻の千本椿

相観による群落名 ヤブツバキ群落
Camellia japonica community

種組成による群落名 イノデータブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 志賀町笹波 (メッシュコード:5536-65-55)
- 選定理由 補充調査により壊滅が確認された。2010年版の記載では、高木層のヤブツバキがかなり高い被度で多かった。能登半島地震以後、立ち入り禁止となり、観光客の立ち入り、ゴミの投棄などは見られなかったが、現在、消失状態にあり確認できない。
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅。 保護対策の緊急性:(記載事項なし)
- 特記事項 志賀町指定天然記念物、能登半島国定公園、特定植物群落 (対照番号:59)。到達不能、かつ他の資料もない。

(高木政喜)

補充調査 (Google Earth 2020による判読) : 関の鼻周辺は観光開発が進んでいる。精査してもそれらしい群落は見当たらない。閲覧日付:2020年8月9日。
(主任調査員)

41 菅原神社のタブ林

相観による群落名 タブノキ群落
Machilus thunbergii community

種組成による群落名 イノデアタブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 輪島市門前町鹿磯 (メッシュコード:5536-75-48)
- 選定理由 冬季の季節風の風背側に成立している数少ないイノデアタブノキ群集の一つである。また風衝側のトベラークロマツ群集と接しており、群落立地条件の上からも貴重かつ重要である。
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。 風衝側のクロマツ林はすでに伐採され、風背側のタブノキ林は壊滅している。計画的に復元するにも長年月が予想される。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:58)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版(植物編)(2010) (高木政喜)
補充調査(Google Earth 2020による判読):参道整備のため、風衝側のタブ林が消滅、駐車場整備のため、風背側も破壊されたが、共に現状では回復していない。閲覧日付:2020年8月10日 (主任調査員)

42 唐島のタブ林

相観による群落名 タブノキ群落
Machilus thunbergii community

種組成による群落名 イノデアタブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 七尾市中島町塩津 (メッシュコード:5536-56-09)
- 選定理由 久々浦の七尾西湾にある陸繋島に立地する社叢林で、海辺に発達するイノデアタブノキ群集である。立地するのは冬季の季節風の風背側で、風衝側のトベラークロマツ群集と接している。立地条件の上からも典型的であり、重要である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 風衝側のクロマツ林はすでに伐採され、風背側のタブノキ林は壊滅している。また、林床に豊富にあったカラタチバナが近年盗掘されてほとんど失われた。計画的に復元する必要がある。
- 特記事項 石川県自然環境保全地域、七尾市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:28)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版(植物編)(2010) (高木政喜)
補充調査(Google Earth 2020による判読):社叢林そのものには、変化が認められない。周辺に港湾整備と緑地整備が進行中で観光開発による荒廃が懸念される。業者によるカラタチバナの大規模採収が問題となったことがあり、社叢林の植物相保護と周辺の緩衝地帯の計画的整備が必要。2010年版の評価を一部変更。閲覧日付:2020年8月9日 (主任調査員)

43 椎葉円比咩神社のタブ林

相観による群落名 タブノキ群落
Machilus thunbergii community

種組成による群落名 イノデアタブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 羽咋市柴垣町 (メッシュコード:5536-36-31)
- 選定理由 高木層が主としてタブノキからなる自然度の高い社叢林で、面積も約1ヘクタールと大きく、また、林内にカクレミノを含むのが特徴である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 海岸に近いので風の影響が大であり、マント群落などの保護管理が特に重要である。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:35) (濱野一郎)

44 大野湊神社のタブーケヤキ林

相観による群落名 タブノキ群落
Machilus thunbergii community

種組成による群落名 イノデアタブノキ群集
Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 金沢市寺中町 (メッシュコード:5436-74-17)
- 選定理由 面積0.5ヘクタール、比較的海岸に近い社叢林で、イノデアタブノキ群集のケヤキ亜群集(里見)として識別されている自然度の高い林である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 風当たりが強いので倒木などが懸念されるが、現状維持が望まれる。ケヤキは老樹化している。
- 特記事項 金沢市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:68) (古池 博)

45 犬ノ沢八幡神社タブ林

相観による群落名	タブノキ群落 Machilus thunbergii community
種組成による群落名	イノデータブノキ群集 Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 加賀市大聖寺下福田町犬ノ沢 (メッシュコード:5436-32-73)
- 選定理由 自然植生の保存されたタブノキ林
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅状態。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。 スギやタブノキが伐採されたため大きく環境が変化した。前回調査地のタブノキの巨木も伐採された。残された神社北側のタブ林が残っているが、これ以上の伐採は行うべきではない。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:112)

(山田利明)

46 鹿島明神社の森林

相観による群落名	タブノキ群落 Machilus thunbergii community
種組成による群落名	イノデータブノキ群集 Polysticho-Persectum thunbergii Suz.-Tok. 1952

- 類 別 単一群落 (群落コード:0107)
- 位 置 加賀市塩屋町 (メッシュコード:5436-31-59)
- 選定理由 全島が暖温帯性常緑広葉樹林で、しかも比較的良好に保存されている。県下で典型的なタブノキ林である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 観光客が多く、神社周辺の平地は林内に入りやすい。2018年の台風により、タブノキの大木が倒れ、林内の環境が変わった。
- 特記事項 国指定天然記念物、越前加賀海岸国定公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号:102)

(山田利明)

47 赤瀬白山神社のツクバネガシ林

相観による群落名	ツクバネガシ群落 Quercus sessilifolia community
種組成による群落名	ヒメアオキ-ウラジロガシ群集 Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- 類 別 単一群落 (群落コード:0108)
- 位 置 小松市赤瀬町 (メッシュコード:5436-33-69)
- 選定理由 ツクバネガシは南加賀区が北限であり、植物地理学上重要である。
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅状態。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。 ナラ枯れにより、ツクバネガシやウラジロガシが立枯れている。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:92) 小松市天然記念物、寺社林。

(山田利明)

48 白山蛇谷のクロベ-ヒメコマツ林

相観による群落名	キタゴヨウ群落 Pinus parvifolia community
種組成による群落名	アカミノイヌツゲ-クロベ群集 Ilici-Thujetum standishii Yamazaki et Nagai 1960

- 類 別 単一群落 (群落コード:0302)
- 位 置 白山蛇谷に面した岩角地。冬瓜山、三方岩山、霧晴峠に囲まれた斜面 (メッシュコード:5436-36、5436-26、特に蛇谷左岸)
- 選定理由 原生林に近い群落で、石川県のブナクラス域における針葉樹林を代表する典型的な景観の一つを形成する。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 白山国立公園特別保護地区・第1種・第3種特別地域、特定植物群落 (対照番号:48) 災害による崖崩れで道路が破壊され、交通困難となったので、正規の現地調査が不可能となった。
補充調査 (Google Earth 2020による判読) : 開発等人間活動による破壊や劣化等の痕跡は認められない。
2010年版の評価を維持。 閲覧日付:2020年8月4日

(主任調査員)

49 犀川源流地域のクロベ-ヒメコマツ林

相観による群落名	クロベ群落 Thuja standishii community
種組成による群落名	アカミノイヌツゲ-クロベ群集 Ilici-Thujetum standishii Yamazaki et Nagai 1960

- 類 別 単一群落 (群落コード:0303)
- 位 置 金沢市 (メッシュコード:5436-45~46)
- 選定理由 犀川源流地域、すなわち多子津山、大門山、見越山、高三郎山、奈良岳、奥三方山などに囲まれた一帯のブナ帯の谷部に立地する。倉谷川、二又川などの流域のブナ帯 (山地帯) の急峻な尾根筋に発達。上限は標高約1,200 m。面積約20ヘクタールとされ、ホンシャクナゲなどのツツジ科の植物を多く伴った自然林である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 犀川源流自然環境保全地域、特定植物群落 (対照番号:46)。近年、登山路が荒廃して失われ、正規の現地調査が不可能。 (白井伸和)
補充調査 (Google Earth 2020による判読): 開発等人間活動による破壊や劣化等の痕跡は認められない。
閲覧日付:2020年8月6日 (主任調査員)

50 大泊八幡神社クロマツ林

相観による群落名	クロマツ群落 Pinus thunbergii community
種組成による群落名	マサキ-トベラ群集 (特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:0304)
- 位 置 輪島市門前町大泊 (メッシュコード:5536-65-86)
- 選定理由 本件はトベラ群団の構成種を多く含み、草本層には北限に近いツワブキが優占する点で、能登半島および石川県では極めて稀な群落である。
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。 マツクイムシの発生でクロマツを伐採、既に周囲には樹林が見られない。したがって復元するには相当な年月を要する。
- 特記事項 Euonymo-Pittosporium tobira Miyawaki et al. 1971 特定植物群落 (対照番号:110)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版 (植物編) (2010) (高木政喜)
補充調査 (Google Earth 2020による判読): 海に面して海岸段丘の先端に立地。マツクイムシ被害で壊滅したが、現状では回復の明確な証拠は認められない。閲覧日付:2020年8月10日 (主任調査員)

51 打呂のヒノキアスナロ林

相観による群落名	ヒノキアスナロ群落 Thujopsis dolabrata var. hondae community
種組成による群落名	ヒノキアスナロ群落 Thujopsis dolabrata var. hondae-Gesellschaft

- 類 別 単一群落 (群落コード:0307)
- 位 置 珠洲市宝立町打呂 (メッシュコード:5637-01-73)
- 選定理由 ヒノキアスナロの南限自生地として重要である。石川県のアテ林業を考える上でも重要である。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 台風の影響によるヒノキアスナロ及びアカマツの倒壊で高木層の空間が目立つ。幼木も少なく将来が心配される。
- 特記事項 石川県自然環境保全地域野生動植物保護地区、県林業試験場試験林、特定植物群落 (対照番号:11)
水源涵養保安林 (石川県) (垣内信一)

52 白滝のヒノキアスナロ林

相観による群落名	ヒノキアスナロ群落 Thujopsis dolabrata var. hondae community
種組成による群落名	ヒノキアスナロ群落 Thujopsis dolabrata var. hondae-Gesellschaft

- 類 別 単一群落 (群落コード:0307)
- 位 置 珠洲市若山町白滝 (メッシュコード:5637-11-13)
- 選定理由 ヒノキアスナロの南限自生地として重要である。石川県のアテ林業を考える上でも重要である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 人が容易に立ち入ることのできない急崖地であるため群落の存続に特に問題はない。急崖地のため、自然崩落が心配される。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:8) (垣内信一)

53 大峯神社のモミ林

相観による群落名 モミ群落
Abies firma community

種組成による群落名 シキミーモミ群集
Illicio-Abietetum firmae Suz.-Tok. 1961

- 類 別 単一群落 (群落コード:0308)
- 位 置 鳳至郡能都瑞穂 (メッシュコード:5537-70-32)
- 選定理由 標高150mの山頂に位置する社殿周辺の社叢林。ブナやタブノキも見られ、植生帯の構成上も注目される。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 ヒノキアスナロの植え込み、その他植え込んだスギやヒノキは成長期に達した。速やかに除去することが望ましい。ブナの実生やブナ林の構成種が見当たらないのでブナの枯死後はモミ、ウラジロガシ、シキミを構成種とする群落に遷移するものと見込まれる。
- 特記事項 石川県指定天然記念物、いしかわの森50選 (37大峯神社社叢林)、特定植物群落 (対照番号:16)

(古池 博)

54 七海白山神社のモミ林

相観による群落名 モミ群落
Abies firma community

種組成による群落名 シキミーモミ群集
Illicio-Abietetum firmae Suz.-Tok. 1961

- 類 別 単一群落 (群落コード:0308)
- 位 置 鳳珠郡穴水町七海 (メッシュコード:5536-67-92)
- 選定理由 各層に植栽木が混じり、勝れた自然林とは言い難いが、高木層にはモミが優占し、低木層、草本層にはシキミがかなり顕著に見られる。この型の森林は北陸には少なく、貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅。 保護対策の緊急性:()。 社殿が新築され、周囲は総て植林域となっている。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:25)

(小野ふみゑ)

55 赤蔵神社のカゴノキを含むモミ林

相観による群落名 モミ群落
Abies firma community

種組成による群落名 シキミーモミ群集
Illicio-Abietetum firmae Suz.-Tok. 1961

- 類 別 単一群落 (群落コード:0308)
- 位 置 七尾市三引町 (メッシュコード:5536-47-60)
- 選定理由 赤倉神社背後の北西斜面に立地するモミ林で、分布北限のカゴノキやイヌガシを含む貴重な群落である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 スギ植林の拡大は抑制する。「赤蔵山憩いの森」は植生の保全を重要目標に位置づけることが望まれる。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:29)

(古池 博)

56 錦城山モミ林

相観による群落名 モミ群落
Abies firma community

種組成による群落名 シキミーモミ群集
Illicio-Abietetum firmae Suz.-Tok. 1961

- 類 別 単一群落 (群落コード:0308)
- 位 置 加賀市大聖寺八間道 (メッシュコード:5436-32-64)
- 選定理由 約400年前、一般庶民の立ち入りを厳しく禁止したため、自然回帰がすすんだ山である。石川県下に数少ないモミ林として貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 地域ボランティアが定期的に草刈りなどの整備をしている。史跡として発掘も行われ、観光利用のための開発整備が懸念される。
- 特記事項 加賀市指定史跡大聖寺城跡、特定植物群落 (対照番号:113)

(山田利明)

57 柳田白山神社のイヌシデ林

相観による群落名	イヌシデ群落 Carpinus tschonoskii community
種組成による群落名	イヌシデアカシデ群落 Carpinus tschonoskii-Carpinus laxiflora-Gesellschaft

- 類 別 単一群落 (群落コード:0405)
- 位 置 鳳珠郡能登町柳田 (メッシュコード:5637-00-46)
- 選定理由 イヌシデの自然林である。
- 保護管理 保護管理状態:2 劣悪。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 2006年に神社周辺が切り開かれ、イヌシデの巨木も数本伐採された。また、林内のスギが大きくなり、イヌシデの成長をさまたげている。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:13)

(垣内信一)

58 押水町今浜カシワ林

相観による群落名	カシワ群落 Quercus dentata community
種組成による群落名	カシワ群落 Quercus dentate Gesellschaft

- 類 別 単一群落 (群落コード:0409)
- 位 置 羽咋郡宝達志水町今浜 (メッシュコード:5536-26-20)
- 選定理由 面積約2ヘクタール、海岸砂丘風衝地の低木林として発達した県内唯一のカシワ林である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 植林されたクロマツが枯死し、マサキ、トベラが植栽された。
- 特記事項 能登半島国定公園第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号:108)

(濱野一郎)

59 猿山のシナノキーエゾイタヤ林

相観による群落名	ケヤキ群落 Zelkova serrata community
種組成による群落名	エゾイタヤケヤキ群落 (特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:0414)
- 位 置 輪島市門前町深見ほか (メッシュコード:5536-7597,98,87,88,77,78,67,68,57,58)
- 選定理由 シナノキー・エゾイタヤが優占する森林は北海道の海岸風衝地に見られるもので、日本海沿いに断片的に分布する。典型的で大規模なものは猿山以南には見られない。貴重であり、かつ重要な群落である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 林床のオオミズミソウ、ギョウジャニンニク等の盗掘に対する対策を継続していかねばならない。また観光客の増加、遊歩道の拡張についても注意を要する。
- 特記事項 Aceriglaurum-Zelkovetum serrata (Yoshioka 1957) Hukushima et al. 1973 corr.Miyawaki 1985 能登半島国定公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号:57)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版〈植物編〉(2010) (高木政喜)
補充調査 (Google Earth 2020による判読):当該地域には現状では開発等人間活動による破壊や劣化等の痕跡は認められない。しかし、周辺地域一帯では従来からのスギ植林に加えて、風力発電所が大規模に設置され、あるいは企画が進んでいるので、緩衝地帯の設置を含む保全対策を講じる必要があると思われる。閲覧日付:2020年8月9日 (主任調査員)

60 藤懸神社のケヤキ林

相観による群落名	ケヤキ林 Zelkova serrata community
種組成による群落名	ヤブツバキケヤキ群落 (特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:0414)
- 位 置 志賀町前浜 (メッシュコード:5536-65-34)
- 選定理由 能登半島の外浦側に分布する典型的なヤブツバキケヤキ群落で季節風の風衝地側に成立しており、局所的極相林として重要である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 現在のところ立ち入り等もなく、樹林はよく維持されている。
- 特記事項 Camellia japonica-Zelkova serrata-Gesellschaft 石川県指定天然記念物、能登半島国定公園特別保護地区、第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号:60)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版〈植物編〉(2010) (高木政喜)
補充調査 (Google Earth 2020による判読):この社叢林には現状では開発等人間活動による破壊や劣化等の痕跡は認められない。玄徳岬までヤブツバキケヤキ林が占めている。しかし、近傍の南側で耕作(畑)が認められるので、緩衝地帯の設置・管理が必要と思われる。2010年版の評価を維持。閲覧日付:2020年8月10日 (主任調査員)

61 鹿頭八幡神社のタブーケヤキ林

相観による群落名	ケヤキ群落 Zelkova serrata community
種組成による群落名	イノデータブノキ群集 (特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:0414)
- 位 置 志賀町鹿頭 (メッシュコード:5536-65-14)
- 選定理由 常緑広葉樹林が冬季の季節風(北西の風)の風衝側に形成されるケヤキ群落の典型的なもので、イノデータブノキ群集ケヤキ亜群集に属する。本社叢林の場合はタブノキの優占度が高い。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 伐採など、人為的な攪乱をしないことが大切である。
- 特記事項 Polysticho-Perseetum thunbergii Suz.-Tok. 1952、特定植物群落(対照番号:62)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版(植物編)(2010)(高木政喜)
補充調査(Google Earth 2020による判読):当該地域には現状では新規の人間活動による破壊や劣化等の痕跡は認められない。しかし、耕作地が至近距離まで迫っているため、緩衝地帯の設置を含めて保全対策が必要と思われる。ちなみに、現在、社叢林が発達しているのは社殿を囲む一帯のみであるが、東側に伸びる樹林・草地は、もとは現社叢林と一体であったと思われるふしがある。2010年版の評価を維持。閲覧日:2020年8月10日
件名修正の必要:本件の件名「鹿頭八幡神社のタブーケヤキ林」は、本県の植生学的調査では1950年代以降継承されているものであるが、このほど、当神社の正式名称は「鹿頭白山神社」であることが、判明した。何かの錯誤に起因すると思われ、至急、修正の必要がある。しかし、特定群落の件名は環境省が管理しているので、当面、従来名称を継承せざるを得ないので、ご了解いただきたい。(主任調査員)

62 佐野神社のケヤキ林

相観による群落名	ケヤキ群落 Zelkova serrata community
種組成による群落名	チャボガヤケヤキ群集 Torreyo radicans-Zelkovetum serratae Miyawaki et al. 1977

- 類 別 単一群落 (群落コード:0414)
- 位 置 白山市河内町福岡 (メッシュコード:5436-44-79)
- 選定理由 ケヤキの大木が林立する社叢林。社殿の北側のものは伐採され半減した。チャボガヤの優占度は余り高くないが、チャボガヤケヤキ群集に区分すべきものであろう。フジカンゾウを草本層に有する。
- 保護管理 保護管理状態:2 劣悪。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 林内の下刈りが定期的に実施されており、低木層や草本層の発達が悪い。
- 特記事項 特定植物群落(対照番号:72)

(本多郁夫)

63 チブリ尾根のサワグルミ林

相観による群落名	サワグルミ群落 Pterocarya rhoifolia community
種組成による群落名	ジュモンジサダーサワグルミ群集 Polysticho-Pterocaryetum Suz.-Tok. et al. 1956

- 類 別 単一群落 (群落コード:0416)
- 位 置 白山市市ノ瀬チブリ登山道(標高1,000m)(メッシュコード:5436-15-47-2)
- 選定理由 この群落は安定した種組成と相観を有する群集で、北陸地方を代表する山地溪畔林。チブリ尾根登山道は手取川上流の一つ細谷川と平行して高度をとっていき、その枝谷のいくつかを横断することもあって、この植物群落としばしば直面する。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 白山国立公園特別保護地区、第3種特別地域、特定植物群落(対照番号:84)

(中野真理子)

64 宝立山のブナ林

相観による群落名	ブナ群落 Fagus crenata community
種組成による群落名	クロモジブナ群集 (特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:0424)
- 位 置 珠洲市宝立町 (メッシュコード:5637-11-13)
- 選定理由 能登に残る数少ない低地ブナ林として貴重である。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。 保護対策上の問題点は特になし。近年、近傍における風力発電所(複数)の設置が計画されているが、立地上、考慮を要する。
- 特記事項 Lindero umbellatae-Fagetum crenatae Horikawa et Sasaki 1959
石川県水源かん養及び保健保安林指定、いしかわの森50選、特定植物群落(対照番号:10)

(垣内信一)

65 黒峰のブナ林

相観による群落名	ブナ群落 Fagus crenata community
種組成による群落名	クロモジ-ブナ群集 (特記事項欄に記載)

- **類別** 単一群落 (群落コード:0424)
- **位置** 珠洲市若山町 (メッシュコード:5637-11-13)
- **選定理由** 能登に残る数少ない低地ブナ林として貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。南側斜面に林道があり、風の影響を受けやすい。
- **特記事項** Lindero umbellatae-Fagetum crenatae Horikawa et Sasaki 1959
珠洲市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:10)

(垣内信一)

66 石動山のブナ林

相観による群落名	ブナ群落 Fagus crenata community
種組成による群落名	クロモジ-ブナ群集 (特記事項欄に記載)

- **類別** 単一群落 (群落コード:0424)
- **位置** 鹿島郡中能登町石動山 (メッシュコード:5536-37-57,58,67,68)
- **選定理由** 能登に残る低地ブナ林として重要である。面積約15ヘクタール、ブナのほか、ミズナラ、アカシデ、アオハダなどが混生する自然度の高い落葉広葉樹林である。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 観光開発 (遺跡発掘等含む) や現在熱心に行われている環境保全活動 (植樹や草花を植える取り組み等) は適切になされる事が望まれる。自然破壊につながらないよう極度の注意が必要。
- **特記事項** Lindero umbellatae-Fagetum crenatae Horikawa et Sasaki 1959
能登半島国定公園第1種特別地域、特定植物群落 (対照番号:32)

(中野真理子)

67 御山神社のイヌシデ、ブナ林

相観による群落名	ブナ群落 Fagus crenata community
種組成による群落名	クロモジ-ブナ群集 (特記事項欄に記載)

- **類別** 単一群落 (群落コード:0402)
- **位置** 河北郡津幡町下河合 (メッシュコード:5536-06-73)
- **選定理由** イヌシデ林とブナ林からなる自然度の高い夏緑広葉樹の社叢林で面積も約1ヘクタールと広く、また、標高230mという低地でのブナの分布は本県では珍しく学問上貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 参道周辺での植え込みは、自然度の高さを誇る社叢林としては似つかわしくなく、今後留意すべきである。また、林内最大のブナは枯死しており、残存するブナの保護管理が必要である。
- **特記事項** Lindero unbellatae -Fagetum crenata Horikawa et Sasaki 1959
石川県指定天然記念物、 特定植物群落 (対照番号:39)

(濱野一郎)

68 菊水のブナ林

相観による群落名	ブナ群落 Fagus crenata community
種組成による群落名	クロモジ-ブナ群集 (特記事項欄に記載)

- **類別** 単一群落 (群落コード:0424)
- **位置** 金沢市菊水町 (メッシュコード:5436-55-23, 24)
- **選定理由** 周辺は二次林であるが、集落の雪崩防止林として保全された原生林に近い森林で、当地方の原植生を知る上で重要な森林である。いわゆる低地 (型) ブナ林の代表的なもので、ヒメアオキ-ウラジロガシ群集に接続している。
- **保護管理** 保護管理状態:5 良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 集落による保全管理が集落の移転によって失われた状態にある。管理用道路が荒廃。
- **特記事項** Lindero umbellatae-Fagetum crenatae Horikawa et Sasaki 1959
菊水県自然環境保全地域、県有林、特定植物群落 (対照番号:70)

(古池 博)

69 大杉谷国有林のブナ林

相観による群落名

ブナ群落
Fagus crenata community

種組成による群落名

チシマザサ-ブナ群集
Sasa kurilensis-Fagetum crenatae Suz.-Tok. 1945

■類 別 単一群落 (群落コード:0424)

■位 置 白山市旧白峰村大杉谷に沿って入った林道の終点から標高差300mを登った尾根 (メッシュコード:5436-25-06,07,16,17ほか)

■選定理由 原生林に近い植物群落で石川県のブナ林を代表するものの一つ。北陸のブナ群落は、尾根ではしばしばスギやヒノキを伴う傾向があるが、その特徴がよくでている典型的な群落である。

■保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。

■特記事項 白山国立公園第3種特別地域、特定植物群落 (対照番号:78) 林道荒廃のため、到達不能で今回は正規の現地調査ができなかった。

補充調査 (Google Earth 2020による判読):スギを択伐した跡が認められる。しかし、未だ回復の証拠は認められない。このままスギ植林は行わずブナ群落として保全し、スギと混交するブナ林として原状復元の方向へ向かって再生を期することが最善であろう。2010年版の評価を維持。閲覧日:2020年8月4日

(主任調査員)

70 チブリ尾根のブナ林

相観による群落名

ブナ群落
Fagus crenata community

種組成による群落名

チシマザサ-ブナ群集
Lindero Umbellatae-Fagetum crenatae Horikawa et Sasaki

■類 別 単一群落 (群落コード:0424)

■位 置 白山市白峰 (市ノ瀬) からチブリ登山道に入り (標高約1,190m) の地点 (メッシュコード:5436-15-47,48)

■選定理由 白山のなかでも、規模が大きく、自然度の非常に高い群落として知られている。

■保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。

■特記事項 白山国立公園特別保護地区、第3種特別地域、特定植物群落 (対照番号:83)

(中野真理子)

71 丸石谷のスギを含むブナ林

相観による群落名

ブナ群落
Fagus crenata community

種組成による群落名

チシマザサ-ブナ群集
Saso kurilensis-Fagetum crenatae Suz.-Tok. 1945

■類 別 単一群落 (群落コード:0424)

■位 置 丸石谷上流右岸の西斜面、国有林1020林班、241林班 (メッシュコード:5436-25、5436-26の隣接部ほか)。

■選定理由 原生林に近い植物群落でスギとブナが混交する点で特徴的である。

■保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:1 要注意。

■特記事項 白山国立公園第3種特別地域、特定植物群落 (対照番号:51)

(白井伸和)

補充調査 (Google Earth 2020による判読):丸石谷右岸のスギを含むブナ林はスギの成木が殆ど伐採されて、回復していない。ブナ林の上限はダケカンバ林に接続。原状回復のためには、このままブナ林を保全し、自然回復を待つのが最善と思われる。閲覧日:2020年8月4日

(主任調査員)

72 鈴ヶ岳のブナ林

相観による群落名

ブナ群落
Fagus crenata community

種組成による群落名

クロモジ-ブナ群集
(特記事項欄に記載)

■類 別 単一群落 (群落コード:0424)

■位 置 小松市大杉本町鈴ヶ岳 (メッシュコード:5436-23-19、-29、鈴ヶ岳自然環境保全地域 (一部))

■選定理由 近年100年間伐採されていない県内唯一のブナ林で大木が多く残され、たいへん貴重である。ブナクラスのカクロモジ-ブナ群集に属する。

■保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。 登山道が尾根筋に通っているが、ブナ林は急峻な場所にあるため登山者の入り込みはないと思われる。

■特記事項 *Lindero umbellatae* -*Fagetum crenatae* Horikawa et Sasaki 1959

鈴ヶ岳自然環境保全地域、特定植物群落 (対照番号:82)

(山田利明)

73 花坂のサクラバハノキ林

相観による群落名	サクラバハノキ群落 Alnus traveculosa community
種組成による群落名	サクラバハノキ群落 Alnus traveculosa-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード:0701)
- **位置** 小松市花坂町 (メッシュコード:5436-43-69)
- **選定理由** サクラバハノキ林は、全国的にも本県においても稀である。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 道路整備などの開発による破壊の危惧。
- **特記事項** 小松市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号: 86)

(山田利明)

74 白山のオオシラビソ林

相観による群落名	オオシラビソ群落 Abies mariesii community
種組成による群落名	オオシラビソ群落 Abietetum mariesii Horikawa et Yoshioka em. Suz.-Tok. 1954

- **類別** 単一群落 (群落コード:0901)
- **位置** 白山、別山付近、南龍ヶ馬場付近、岩間道付近、三方岩岳付近 (南龍ヶ馬場付近 (代表地点) (メッシュコード: 5436-16-61))
- **選定理由** 原生林に近い植物群落で、石川県のコケモモトウヒクラス域の針葉樹林を代表する景観を有する。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。
- **特記事項** 白山国立公園特別保護地区・第3種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 50)

(中野真理子)

75 水越島と大島のアカメガシワ林

相観による群落名	アカメガシワ群落 Mallotus japonicas community
種組成による群落名	クサギーアカメガシワ群集 Clerodendro-Mallotion japonica Ohba 1971

- **類別** 単一群落 (群落コード:1101)
- **位置** 七尾市能登島曲町マン崎北1kmに位置する隣接する群島 (メッシュコード: 5536-57-89~57-99)
- **選定理由** タブノキの原生林が破壊されて成立した二次林である。大島ではすでにタブノキ林に再遷移している。水越島ではアカメガシワ林の成木林となっているが早晚、同様にタブノキ林が再生すると考えられる。現在も、下層にもアカメガシワの幼木が生育して、アカメガシワ林が持続しており特異な林相をもつ。
- **保護管理** 保護管理状態: 5 良好 保護対策の緊急性: 1 要注意。
- **特記事項** 能登半島国定公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号: 27)
現地調査データ: 谷口忠・源内伸秀・鳥木茂・西井武秀, 2017. 七尾湾上の水越島・大島植物調査報告 (未刊行)
(主任調査員)

76 浜佐美のセンダン群落

相観による群落名	センダン群落 Melia azedarach community
種組成による群落名	センダン群落 Melia azedarach-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード:1105)
- **位置** 小松市浜佐美町 (メッシュコード: 5436-43-51)
- **選定理由** 面積約1ヘクタール、県内最大の群落である。本来センダンは四国、九州、琉球に自生する南方系の種であるが、本県での自生でこれだけの群落がみられるのは珍しい。
- **保護管理** 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 2 対策必要。 クロマツとニセアカシアの防風林内に局部的に見られる群落で、現状は自然遷移に任せ、放置状態なので何らかの保護対策が必要である。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号: 122)

(山田利明)

77 須田のハイネズ

相観による群落名 ハイネズ群落
Juniperus conferta community

種組成による群落名 ハマゴウハイネズ群集
(特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:1402)
- 位 置 羽咋市須田町 (メッシュコード:5536-36-41)
- 選定理由 ハイネズは砂丘林下に特有の植物で、県内での大きな群落は数少なく珍しい。(ここでは以前、約1ヘクタールあったが、現在は環境の変化によって2群落に減少している。)
- 保護管理 保護管理状態:2 劣悪。 保護対策の緊急性:3 対策必要。 海岸側に土塁が築かれて環境が変化し、つる植物などの草本類が侵入してハイネズの成長を妨げているので除去するなどの対策が必要である。
- 特記事項 Vitici rotundifoliae-Juniperetum conferteae (Yano 1962) Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
能登半島国定公園第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号:34)

(濱野一郎)

78 塩屋一片野のハマゴウ群落

相観による群落名 ハマゴウ群落
Thujopsis dolabrata var. hondae community

種組成による群落名 ウンランーハマゴウ群集
(特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:1403)
- 位 置 加賀市塩屋町 (メッシュコード:5436-32-50)
- 選定理由 県下随一の規模 (幅約100m、長さ4km) のハマゴウを優占種とする広大な海浜植物群落である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:2 対策必要。 車両の乗り入れは少なくなったが皆無ではない。インスマレの盗掘跡が見られており、対策が必要である。
- 特記事項 Linario-Viticetum rotundifoliae Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
越前加賀海岸国定公園第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号:101)

(山田利明)

79 七尾北湾、大島のハマナス群落

相観による群落名 ハマナス群落
Rosa rugosa community

種組成による群落名 アキグミ-ハマナス群集
Elaeago umbellatae-Rosetum rugosae Ohba, Miyawaki et Tx.1873

- 類 別 単一群落 (群落コード:1404)
- 位 置 七尾市能登島曲町マン崎より北1kmに位置する島 (メッシュコード:5536-57-98)
- 選定理由 この地のハマナス群落は、七尾湾上の大島にあり、人間活動が微弱で原生的な状態がそのまま持続されている点に特徴がある。同島西海岸、崖斜面にヤマカモジグサやハマナデシコと構成する群落のものを典型として挙げたが、同島や隣接する水越島にはあちこちに見られる。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 能登半島国定公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号:26)
現地調査データ:谷口忠・源内伸秀・鳥木茂・西井武秀. 2017. 七尾湾上の水越島・大島植物調査報告 (未刊行); 源内伸秀・西井武秀・谷口忠・鳥木茂・鳥木順子. 2017. 希少種を含む落植生調査票No.168 (未刊行)。

(主任調査員)

80 竹松砂丘のハマナス群落

相観による群落名 ハマナス群落
Rosa rugosa community

種組成による群落名 アキグミ-ハマナス群集
(特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:1404)
- 位 置 白山市竹松町 (メッシュコード:5436-64-63)
- 選定理由 砂丘風背側に立地するエノキ林の前面に発達する典型的なハマナス群落であり、かつて県内最大規模の群落であった。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:3 対策が必要。 行き過ぎた園芸的な管理 (除草、施肥、植え込みなど) を中止し、自然群落の生育を見守ってほしい。
- 特記事項 Elaeago umbellatae-Rosetum rugosae Ohba, Miyawaki et Tx. 1973
白山市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号:69)

(中野真理子)

81 犀川源流地域のダケカンバ林

相観による群落名	ダケカンバ群落 <i>Betula ermanii</i> community
種組成による群落名	ササ-ダケカンバ群落 Sasa sp.- <i>Betula ermanii</i> -Gesellschaft

- 類 別 単一群落 (群落コード:1605)
- 位 置 金沢市 (メッシュコード:5436-45~46) (代表地点 メッシュコード:5436-46-12)
- 選定理由 この群落は、従来、ダケカンバ林の純林で、その自然度も極めて高いとされてきたが、現在はブナ林の生育・立地が活発で純林といえるものは殆ど見られない。当初の面積は35ヘクタールとされていたが、ブナ林の上昇とともに縮小している可能性がある。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 犀川源流自然環境保全地域、犀川源流生物群集保護林、特定植物群落 (対照番号:45) (白井伸和)
補充調査 (Google Earth 2020による判読): 倉谷川右岸では稜線付近の一部を除いて殆ど見当たらない。大門山、赤摩古山、見越山、高三郎山、奈良岳、奥三方山などで、個別にダケカンバ林の分布域を判読・精査したが、ブナ林域の上限付近にブナと混交し、または小規模な群落の立地が認められるだけで、規模の大きなものは確認できない。同地域で1975年作成の植生調査票 (美馬秀夫・村上喬) では、高木層 (第1層) がダケカンバ4・4で優占し、亜高木層 (第2層) ではブナ3・3が優占して、以下低木層 (第3層)、草本層 (第4層) とともにブナが存在する (環境庁 (編) 1979. 日本の重要な植物群落、北陸版 (第2回自然環境保全基礎調査報告書) 石川県 p.99)。これが現在、上限付近のブナ群落に遷移している可能性が大きい。今後の継続観察により推移を確かめる必要がある。閲覧日:2020年8月7日 (主任調査員)

82 白山のハイマツ低木林

相観による群落名	ハイマツ群落 <i>Pinus pumila</i> community
種組成による群落名	コケモモ-ハイマツ群集 <i>Vaccinio-Pinetum pumilae</i> Maeda et Shimazaki 1951

- 類 別 単一群落 (群落コード:1607)
- 位 置 白山大汝峰~御前峰~南龍ヶ馬場にかけての斜面及び平坦部 (代表地点メッシュコード:5436-16-81、91)
- 選定理由 数少ない原生群落であって、高山帯の針葉低木林の景観を代表する植物群落である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 白山国立公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号:52) (白井伸和)
補充調査 (Google Earth 2020による判読): 五葉坂、御前峰南西斜面、大汝峰西斜面などに典型的に立地・発達。開発行為など人間活動による破壊・劣化は認められない。閲覧日:2020年8月7日 (主任調査員)

83 南龍ヶ馬場の湿地植生

相観による群落名	ハクサンオオバコ群落 <i>Plantago hakusanensis</i> community
種組成による群落名	イワイチョウ-ショウジョウスゲ群集 (特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:2006)
- 位 置 白山市白峰南龍ヶ馬場 (メッシュコード:5436-16) (代表地点のメッシュコード:5436-16-62)
- 選定理由 雪田植生のうち、ハクサンコザクラではなく、ハクサンオオバコの優占する群落で、多少とも凸地部分にはショウジョウスゲを伴う。融雪時には凹地部分は沼沢化し、ハクサンオオバコと混生する場合も多い。近年この植生は、南龍ヶ馬場では他の雪田植生と同様、気候変動に起因すると考えられる積雪期間の短縮化に伴い、減少の一途をたどっており、面積並びにハクサンオオバコの個体数の減少が顕著である。有効な保護対策をとることは難しい。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。
- 特記事項 *Faurio-Caricetum blepharicarpae* Suz.-Tok 1964 em.Miyawaki et K. Fujikawa 1970.
白山国立公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号:55) (中野真理子)

84 南龍ヶ馬場のハクサンコザクラ群落

相観による群落名	ハクサンコザクラ群落 <i>Primula cuneifolia</i> community
種組成による群落名	タカネヤハズ/ハハコーアオノツガザクラ群集 <i>Anapharido-Phylloctetum aleutica</i> Ohba 1967

- 類 別 単一群落 (群落コード:2007)
- 位 置 白山市白峰南龍ヶ馬場 (メッシュコード:5436-16-62)
- 選定理由 高山帯・亜高山帯にあって、環境の変化に弱い湿地に立地する雪田植物群落。白山の景観を代表する群落の一つである。近年の積雪期間の減少に伴い、減少しつつある雪田や湿地にあって、群落面積やハクサンコザクラの個体数減少が危惧されている。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 気候変動に起因すると考えられ、有効な保護対策をとることは難しい。
- 特記事項 白山国立公園特別保護区、特定植物群落 (対照番号:54) (中野真理子)

85

のヤチカワズスゲ湿原

相観による群落名	ヤチカワズスゲ-ミズゴケ群落 Carex omina-Sphagnum community
種組成による群落名	ヤチカワズスゲ-ミズゴケ群落 Carex omina Sphagnum-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 2301)
- **位置** 白山市白峰 (秘) (メッシュコード: 秘)
- **選定理由** 本件はミズゴケの生育する湿原で、ヤチカワズスゲやキンコウカが優占する。本県では高層湿原の発達が悪く、このような小規模のものが認められるだけである。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 2 破壊の危惧。 登山者の湿原への踏み込みが懸念される。
- **特記事項** 白山国立公園第1種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 77)

(白井伸和)

86 片野海岸のノハナショウブ群落

相観による群落名	ノハナショウブ群落 Iris ensata var. spontanea community
種組成による群落名	ノハナショウブ-ススキ群落 (特記事項欄に記載)

- **類別** 単一群落 (群落コード: 2726)
- **位置** 加賀市片野町 (メッシュコード: 5436-32-92)
- **選定理由** 山中の湿地で見られることの多いノハナショウブが、ここでは海岸で見られるという意味で貴重な群落である。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 釣り人の立ち入りがある。保護対策の緊急性: 2 海岸浸食による崩落が危惧される。
- **特記事項** Iris ensata var. spontanea-Miscanthus sinensis-Gesellschaft
越前加賀海岸国立公園第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 124)

(山田利明)

87 舳倉島のエゾツルキンバイ群落

相観による群落名	エゾツルキンバイ群落 Potentilla egedei var. grandis community
種組成による群落名	エゾツルキンバイ群落 Potentilla egedei var. grandis-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3104)
- **位置** 輪島市 (舳倉島) 海士町 (メッシュコード: 5636-67-23)
- **選定理由** エゾツルキンバイは千島列島、北海道、東北地方の塩沼地に生育し、本島が種の分布の南限である。また、県内唯一の群落として貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 1996年、重油による汚染があった。今後も汚染物質による汚染、人の立ち入りによる踏みつけ、盗掘などが懸念される。
- **特記事項** 能登半島国立公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号: 114)、舳倉島・七ツ島の自然環境 (舳倉島・七ツ島自然環境調査団. 2011)

(高木政喜)

88 大島のハマウド群落

相観による群落名	ハマウド群落 Angelica japonica community
種組成による群落名	オニヤブマオーハマウド群落 (特記事項欄に記載)

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3309)
- **位置** 輪島市七ツ島 (大島) (メッシュコード: 5636-37-32)
- **選定理由** ハマウドは南方系の植物であり、本島の群落は分布の北限に近いものとして貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 オオミズナギドリが飛び立つ際の滑走などで裸地化が生じている。野鳥の保護と植生の管理との両立を検討する必要がある。
- **特記事項** Boehmerio-Angelicetum japonicae Miyawaki et al. 1980
能登半島国立公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号: 21)、舳倉島・七ツ島の自然環境 (舳倉島・七ツ島自然環境調査団. 2011)

(高木政喜)

89 舢倉島のヒゲスゲ群落

相観による群落名	ヒゲスゲ群落 Carex oahuensis var. robusta community
種組成による群落名	ヒゲスゲ群落 Carex oahuensis var. robusta-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3402)
- **位置** 輪島市海士町 (メッシュコード: 5636-67-23)
- **選定理由** ヒゲスゲは南方系の植物であり、本島の群落は日本海側における分布の北限に近いものとして貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 1996年、重油による汚染があった。今後も汚染物質による汚染、人の立ち入りによる踏みつけ、ゴミの投棄などが懸念される。
- **特記事項** 能登半島国定公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号: 118)、舢倉島・セツ島の自然環境 (舢倉島・セツ島自然環境調査団, 2011)

(高木政喜)

90 下黒川のミズバショウ

相観による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense community
種組成による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3604)
- **位置** 輪島市下黒川町 (メッシュコード: 5636-06-37)
- **選定理由** 能登半島では数少ないミズバショウの自生地であり、かなりのまとまりをもった群生地として貴重である。
- **保護管理** 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 2 破壊の危惧。 観光目的の行き過ぎた手入れ、人の立ち入りによる踏みつけ、盗掘などが懸念される。イノシシ侵入の対策も必要である。
- **特記事項** 輪島市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号: 24)

(大畑 弘)

91 大倉岳のミズバショウ

相観による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense community
種組成による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3604)
- **位置** 小松市尾小屋大倉岳 (メッシュコード: 5436-34-54)
- **選定理由** 古くから知られているミズバショウ群生地で、山地帯の緩斜面に立地している湿地の植生である。株数は約2,000とされている。
- **保護管理** 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 群落は衰退し、ほとんど消滅。県による立木の伐採や遊歩道の設置により水流が変わり、乾燥化したことが原因との指摘がある。
- **特記事項** 獅子吼・手取県立自然公園普通地域、小松市天然記念物、特定植物群落 (対照番号: 80)

(白井伸和)

92 大嵐谷のミズバショウ

相観による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense community
種組成による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3604)
- **位置** 白山市桑島町、手取川右岸百合谷林道終点から徒歩東方約30分 (メッシュコード: 5436-25)
- **選定理由** 個体数は約3万株で、石川県内のミズバショウ群生地としては最大規模の小松市横谷に次ぐ規模を有する。
- **保護管理** 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 1 要注意。
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号: 120)

(白井伸和)

補充調査 (Google Earth 2020による判読): この群落はスギ植林地に立地するが、周辺の環境に変化は認められない。閲覧日: 2020年8月11日

(主任調査員)

93 根蔵谷のミズバショウ

相観による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense community
種組成による群落名	ミズバショウ群集 Lysichiton camtschaticense-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3604)
- **位置** 白山市白峰の市ノ瀬発電所 (手取川左岸) に接続する緩斜面 (メッシュコード: 5436-15-34)
- **選定理由** 小規模であるが、エゾリンドウ、オオバギボウシ、スゲ類などの種子植物、シダ植物、ミズゴケ類など、湧水地、湿地の植物が豊富である。
- **保護管理** 保護管理の状態: 4 やや良。 遊歩道の木道の痛みが著しい。保護対策の緊急性: 1 要注意。 近年、イノシシによる掘り起こしが見られるようになった。
- **特記事項** 白山国立公園第2種・第3種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 121)

(白井伸和)

94 横谷のミズバショウ

相観による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense community
種組成による群落名	ミズバショウ群集 Lysichiton camtschaticense-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3604)
- **位置** 小松市丸山町 (メッシュコード: 5436-24-74)
- **選定理由** 標高500m前後の凹状平坦面に発達する湿地の群落で規模は約17万株とされ、石川県下で最大である。
- **保護管理** 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 イノシシによる掘り起こしと食害が進み、ミズバショウは壊滅的な状態である。小松市により対策はなされているものの被害を防ぐのは困難な状況である。
- **特記事項** 獅子吼・手取県立自然公園普通地域 (部分)、特定植物群落 (対照番号: 81)

(白井伸和)

95 取立平のミズバショウ

相観による群落名	ミズバショウ群落 Lysichiton camtschaticense community
種組成による群落名	ミズバショウ群集 Lysichiton camtschaticense-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 3604)
- **位置** 白山市白峰取立平。(コツプリ山の下り、標高1,240m付近 (メッシュコード: 5436-14-38~39))
- **選定理由** 県境に立地し、この地域のブナクラス域の湿地として典型的なものである。
- **保護管理** 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 ミズバショウの開花期に登山客が急増している。踏み込み・踏み荒らしに対する防止策を講じる必要がある。
- **特記事項** 福井県側は奥越高原県立自然公園第2種特別地域に指定、特定植物群落 (対照番号: 85)
補充調査 (Google Earth 2020による判読): 判読の結果としては、周辺の環境は良く保全されており、特記すべき変動は認められない。森林の伐採なども認められない。近年、観光上有名になってきたので、福井県側と接続している関係上、両県が協力して保護にあたるべき時期に来ていると思われる。 閲覧日: 2020年8月11日

(主任調査員)

96 安宅住吉神社のクロマツ林

相観による群落名	クロマツ群落 Pinus thunbergii community
種組成による群落名	クロマツ植林 Pinus thunbergii-Gesellschaft

- **類別** 単一群落 (群落コード: 4502)
- **位置** 小松市安宅町 (メッシュコード: 5436-53-03)
- **選定理由** 加賀海岸で育成されてきた海岸砂防林で、この地域の海岸の典型的な景観を形成する。林内には、先行して植栽されたニセアカシアのほか、シロダモ、ヒメアオキ、ヤブコウジ、キツタ、タブノキ、シユロなどのこの地域の極相をなす樹種が数多く見られ、手が入り入れられない場合には、自然遷移としてタブノキ群落やスダジイ群落に移行していくものと見られる。
- **保護管理** 保護管理状態: 5 保護対策の緊急性: 3
- **特記事項** 特定植物群落 (対照番号: 89)

(山田利明)

補充調査: 近年の別件調査で、過去の海岸林造成のさいに試験的に導入したと考えられるフランスカイガンショウ *Pinus pinaster* Aiton が極めて少数であるが、同地に今も残存していることが知られている。外国の例では、外来植物として害をなしている場合が知られているが、我が国では未定着である。当地の砂防林建設は創意に富んだ先駆的なもので全国的に有名であるが、同樹は先人が努力を重ねた記念物の一つであり、むしろ、文化遺産として積極的に保存すべきものであろう。

(主任調査員)

97 松島、さざえ島のイワダイゲキ

相観による群落名	イワダイゲキ群落 Euphorbia jolkinii community
種組成による群落名	マサキートベラ群集 Euonymo-Pittospretum tobira Miyawaki et al.1971

- 類 別 個体群 (群落コード:0304)
- 位 置 七尾市鶴浦鹿渡島 (メッシュコード:5537-50-54)
- 選定理由 イワダイゲキは太平洋側に主として分布する種で房総半島が東限である。日本海側では、山口県東部及び隠岐に分布するのみで、ここ鹿渡島にいたるまで分布しないという特異な分布をする。分布の北限でもあり、植物地理学上重要である。2010年版で松島・さざえ島からの壊滅が報告されたが、今回の調査で両島での再生・回復または再発見、新発見があった。
- 保護管理 保護管理状態:5 良く保護されている。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 能登半島国定公園普通地域、特定植物群落 (対照番号:19)
現地調査データ:源内伸秀・西井武秀. 2015. 希少種を含む植生調査票No.33. (調査地:能登島野崎松島、調査日:2015.10.12.). IN: 七尾市希少植物報告第3報 (未刊行); 源内伸秀・西井武秀・谷口忠・島木茂・島木順子・2017. 希少種を含む群落植生調査票No.168 (未刊行).
谷口忠・源内伸秀・島木茂・西井武秀. 2017. 七尾市七尾北湾上の大島・水越島にみられる植物リスト. (未刊行) IN: 谷口忠・源内伸秀・島木茂・西井武秀. 七尾市:七尾北湾上の大島、水越島植物調査報告 (調査地:大島、水越島、調査日:2017.6.9) (未刊行) (主任調査員)
補充調査 (Google Earth 2020による判読等): 松島・さざえ島周辺の自然環境に変化は認められず、開発行為等の人間活動も認められない。2010年版の評価を変更。閲覧日:2020年8月11日 (主任調査員)

98 岩倉山マルバマンサク群落

相観による群落名	マルバマンサク群落 Hamamelis japonica var. obtusata community
種組成による群落名	クロマツマルバマンサク群落 (特記事項欄に記載)

- 類 別 個体群 (群落コード:0304)
- 位 置 輪島市町野町曾々木 (メッシュコード:5637-10-56)
- 選定理由 マルバマンサクの花弁は通常黄色であるが、ここではニシキマンサク、アカバナマンサクが混生する。また、それぞれの中間型のものも見られるなど、花色の変異に富む貴重な群落である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。自然崩壊が危惧される。現在、遊歩道は進入禁止になっている。
- 特記事項 Pinus thunbergii-Hamamelis japonica var. obtusata-Gesellschaft
能登半島国定公園第1種特別地域、特定植物群落 (対照番号:104)

(大畑 弘)

99 のサクライソウ (17-100)

相観による群落名	サクライソウ群落 Petrosavis sakuraii community
種組成による群落名	オオバクロモジミズナラ群集 (特記事項欄に記載)

- 類 別 個体群 (群落コード:0427)
- 位 置 加賀市山中温泉 (秘) (メッシュコード:秘)
- 選定理由 全国的にも稀少であるサクライソウの北限生育地である。
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅 保護対策の緊急性:(壊滅) ナラ枯れによる環境の変化によりチマキザサの林になっている。以前確認できたときと環境が大きく変化し、この地点では絶滅したと思われる。
- 特記事項 Lindero membranaceae-Quercetum grosserratae Ohba 1973
山中・大日山県立自然公園普通地域、特定植物群落 (対照番号:100)

(山田利明)

100 打呂のヨコグラノキ

相観による群落名	ヨコグラノキ群落 Berchemia berchemiaefolia community
種組成による群落名	ヒメアオキウラジロガシ群集 Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- 類 別 個体群 (群落コード:0431)
- 位 置 珠洲市宝立町打呂 (メッシュコード:5637-01-73、5436-01-83)
- 選定理由 新潟県を北限とするヨコグラノキは、かつて、良質の炭が得られるなどのために伐採され、数少ない存在となっている。周囲の樹木の成長にともなう環境の変化で消える可能性がある。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 現在では、ダム湖周辺に数本が点在するのみ。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号:12)

(垣内信一)

101 池崎のサクラバハノキ

相観による群落名 サクラバハノキ群落
Alnus truncata community

種組成による群落名 サクラバハノキ群落
Alnus truncata-Gesellschaft

■類 別 個体群 (群落コード:0701)

■位 置 七尾市池崎町 (メッシュコード:5536-47-44)

■選定理由 サクラバハノキは茨城県、新潟県以西に分布するが、石川県でも稀産の植物で、群落数は少ない。

■保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 不燃物埋立地が隣接して設置。

■特記事項 特定植物群落 (対照番号:117)

現地調査データ:植生調査票 (2018年12月4日、西井 武秀)

補充調査 (Google Earth 2020による判読等):現状では、不燃物埋立地は群落立地領域には及んでいない。閲覧日2020年9月9日

(主任調査員)

102 赤瀬町のヒュウガミズキ林

相観による群落名 ヒュウガミズキ群落
Corylopsis paucifolia community

種組成による群落名 ヒュウガミズキ群落
Corylopsis paucifolia-Gesellschaft

■類 別 個体群 (群落コード:1306)

■位 置 小松市赤瀬町 (メッシュコード:5436-33-69)

■選定理由 ヒュウガミズキは京都、兵庫、岐阜、福井、石川の各府県にしか産せず、石川県でも南加賀の小松市、加賀市の一部にのみ分布するが、ここで指定するのは赤瀬町を中心とするメタ個体群である。

■保護管理 保護管理状態:2 劣悪。 保護対策の必要性:3 対策必要。 保護対策は全くとられていない。二次林の林縁、林床、山道の適切な刈り込みが行われなくなったことから、鬱閉(うつべい)した環境に置かれることにより、発育が衰退している。

■特記事項 特定植物群落 (対照番号:91)

補充調査 (Google Earth 2020による判読等):本県では、本種は鞍掛山を中心に分布するが、今回は荒俣峠を中心に大杉谷川流域を広く現地調査した。支流の小渓谷との合流地点崖面(攻撃斜面)にウラジロガシ群落と接続して階層を有する原生的な林分を認め、路傍法面などに小林分が、複数箇所確認できた。後者は、いずれも道路管理(草刈)など人間活動が活発な場所で、植物体には損傷があり、葉も矮小化している。河川内側近傍や山麓での休耕田の広範な存在などから、土地管理が行き届かなくなった状況が推測され、環境庁(1979)掲載の植生調査表(対象番号91)にうかがわれる様な正常な植生管理、更新が失われた状況にある。

Google Earth 2020による判読では、一帯の自然環境に大きな変化は認められず、道路整備以外の開発行為等も認められない。2010年版の評価を維持。閲覧日:2020年8月28日

(主任調査員)

(主任調査員)

103 舩倉島のアカネムグラ

相観による群落名 アカネムグラ群落
Rubia jesoensis community

種組成による群落名 アカソーオオヨモギ群集
(特記事項欄に記載)

■類 別 個体群 (群落コード:2209)

■位 置 輪島市海士町 (メッシュコード:5636-67-13)

■選定理由 アカネムグラは北方系の植物で、北海道から日本海側を南下し、本島が種の分布の南限である。また、県内唯一の群落として貴重である。

■保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。 島内中央部で行われた大規模な植林、舗装道路工事によって生育域はかなり減少した。島の開発には充分な配慮が望ましい。

■特記事項 *Boehmerio-Artemisietum montanae* Miyawaki et al. 1968

能登半島国定公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号:20)、舩倉島・七ツ島の自然環境 (舩倉島・七ツ島自然環境調査団. 2011)

(高木政喜)

104 のムシトリスミレ (17 - 75)

相観による群落名 ムシトリスミレ群落
Pinguicula vulgaris var. *macroceras* community

種組成による群落名 ムシトリスミレ群落
Pinguicula vulgaris var. *macroceras*-Gesellschaft

■類 別 個体群 (群落コード:2602)

■位 置 白山市旧吉野谷村 (秘) (メッシュコード:秘)

■選定理由 本県では、ムシトリスミレそのものが極めて稀である。

■保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:2 破壊の危惧。

■特記事項 特定植物群落 (対照番号:75)。到達不能以外の理由で現地調査ができず、かつ他の測定資料もないので前回調査成果を引用、測定年:2009年、資料名:いしかわレッドデータブック改訂版(植物編)(2010)

(高木政喜)

105

のサギソウ群落 (17 - 125)

相観による群落名 サギソウ群落
Habenaria radiata community種組成による群落名 サギソウ群落
Habenaria radiata-Gesellschaft

- 類 別 個体群 (群落コード: 2714)
- 位 置 加賀市 (秘) (メッシュコード: 秘)
- 選定理由 石川県下ではほぼ絶滅に近い状態になったサギソウの、残り少ない自生地の一つとして重要である。
- 保護管理 保護管理状態: 1 壊滅。 保護対策の緊急性: (記載なし) ハンノキが成長し、日当たりが悪くなっている。オオミズゴケも少なくなり大きく環境が変わった。この地点ではサギソウは絶滅したのではないかと、と思われる。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号: 125)

(山田利明)

106 日尾池群のミツガシワ

相観による群落名 ミツガシワ群落
Menyanthes trifoliolate community種組成による群落名 ミツガシワ群落
Menyanthes trifoliolate-Gesellschaft

- 類 別 個体群 (群落コード: 2733)
- 位 置 金沢市犀川上流の吉次山と高尾山を結ぶ稜線上 (登山道近傍) に位置する (メッシュコード: 5436-55-39, 56-30)
- 選定理由 ミツガシワは氷河期の遺存種の一つであるが、県下での分布が稀で、群落といえる規模のものは、今のところここだけである。
- 保護管理 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 1 要注意。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号: 119)。現地調査ができなかったため、2010年版のデータを維持。

(主任調査員)

107 医王山大池のムジナスゲ

相観による群落名 ムジナスゲ群落
Carex lasiocarpa var. occultans community種組成による群落名 ムジナスゲ群落
Caricetum occultans Miyawaki et Ya. Sasaki 1980

- 類 別 個体群 (群落コード: 2735)
- 位 置 金沢市二俣町 (医王山大池平) (メッシュコード: 5436-66-44)
- 選定理由 ムジナスゲは北海道と本州中部日本海側に分布するが、ここが南限である。ヨシ、ムジナスゲなどがつくる浮島にオオニガナ、ミズオトギリなどと共に生育している。かつては、池周辺のマコモ群落にミツガシワ、ミズバショウなどの生育が活発であったが、周辺のミズナラ林の後退もあって衰退の一途をたどっている。
- 保護管理 保護管理状態: 4 やや良。保護対策の緊急性: 2 破壊の危惧。 周辺の整備が進行しているのでその抑制と、浮島や池周辺の立ち入りの制限が必要である。
- 特記事項 医王山県立自然公園 (石川県) 第1種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 43)
補充調査 (Google Earth 2020による判読等): 1960年頃には西岸に連絡していた、いわゆる「浮島」は、西岸から離れて移動し、2014年頃には北岸東部に接続していた。今回の現地調査 (補充調査) によると、さらに東側に移動するとともに、比高の高い岸側から少量であるが、土砂の供給を受けた形跡がある。遷移は進行し、浮島の中核部はヨシとミズゴケをとまうムジナスゲ群落が立地し、ミズナラ、ユキツバキなどの低木 (2m程度の幼木) の生育が認められ、枯死した幼木もある。周辺にはマコモ群落が形成されており、ミツガシワは残存しているが、ミズバショウは消失したらしい。写真判読でも自然環境に大きな変化はなく、近年、開発行為等の人間活動も認められなくなった。2010年版の評価を継続。閲覧日: 2020年8月1日 (主任調査員)

108

のイワギク (17 - 49)

相観による群落名 イワギク群落
Dendranthema zawadskii community種組成による群落名 イワギク群落
Dendranthema zawadskii-Gesellschaft

- 類 別 個体群 (群落コード: 3503)
- 位 置 白山市 (秘) (メッシュコード: 秘)
- 選定理由 全国的に限られた分布をする植物で、十指を折るまでに至らない。適性環境にのみ隔離分布するもので、大陸系の植物である。県内では、白山山系の限られた場所のみ分布し貴重である。緑化植物として、大陸産の種子を持ち込まれる恐れがあるので嚴重な注意が必要である。
- 保護管理 保護管理状態: 5 良く保護されている。 保護対策の緊急性: 1 要注意。
- 特記事項 白山国立公園第1種・第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 49)

(本多郁夫)

109

のセッコク自生地 (17 - 115)

相観による群落名	セッコク群落 Derndrobium moniforme community
種組成による群落名	セッコク群落 Derndrobium moniforme-Gesellschaft

- 類 別 個体群 (群落コード: 35xx)
- 位 置 輪島市 (メッシュコード: 秘)
- 選定理由 セッコクは樹上や岩上に着生するランの一種であるが、対馬海流によってもたらされる温暖な生育条件により立地している石川県下唯一の生育地である。
- 保護管理 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 2 破壊の危惧。 自然崩落の危険が予想される急峻な岩上にあるが、山野草愛好家などによる採取の危険がある。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号: 115)。 補充調査 (現地調査): 調査員大畑弘により確認、2010年版の判定を維持。
(主任調査員)

110

のエチゼンダイモンジソウ

相観による群落名	エチゼンダイモンジソウ群落 Saxifraga acerifolia-community
種組成による群落名	エチゼンダイモンジソウ群落 Saxifraga acerifolia-Gesellschaft

- 類 別 個体群 (群落コード: 3606)
- 位 置 加賀市 (秘) (メッシュコード: 秘)
- 選定理由 福井県、石川県の両県にのみ分布するとされる植物種の植物群落であり、県内の分布も局所的であって、植物地理上重要である。
- 保護管理 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 花が美しいため採取されることが危惧される。
- 特記事項 山中・大日山県立自然公園普通地域、特定植物群落 (対照番号: 126)
(山田利明)

111

のフジバカマ群落 (17 - 123)

相観による群落名	フジバカマ群落 Eupatorium japonicum community
種組成による群落名	フジバカマ群落 Eupatorium japonicum-Gesellschaft

- 類 別 個体群 (群落コード: 3813)
- 位 置 加賀市 (秘) (メッシュコード: 秘)
- 選定理由 秋の七草の一つとして親しまれている植物であるが、現在、その群落は数少なくなっている。
- 保護管理 保護管理状態: 2 劣悪。 保護対策の緊急性: 4 緊急に対策必要。 ゴミや土砂の投棄による環境悪化に加え、上層樹木の繁茂による日照不足のため、群落は衰え、側溝と道路の舗装との境目に多くのフジバカマが生育している状態である。
- 特記事項 越前加賀海岸国定公園、特定植物群落 (対照番号: 123)
(本多郁夫)

112 鉢ヶ崎のハマドクサ

相観による群落名	クロマツ群落 Pinus thunbergii community
種組成による群落名	クロマツ植林 Pinus thunbergii-Forest"

- 類 別 個体群 (群落コード: 4502)
- 位 置 珠洲市蛸島町雲津 (メッシュコード: 5637-12-26)
- 選定理由 ハマドクサは北海道、本州の中部以北に分布するが、あまり生育地が知られていない。本群落はクロマツ林下に広く生育しており、貴重である。
- 保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 周囲はバンガロー、キャンプ場、海水浴場に隣接しているため、ゴミの投棄、人の立ち入りによる踏みつけなどの監視が必要である。
- 特記事項 珠洲市指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号: 3)
(大畑 弘)

113 柴垣のハマオミナエシ

相観による群落名	ハマオミナエシ群落 Patrinia scabiosaefolia var. crassa community
種組成による群落名	クロマツ植林 Pinus thunbergii -Forst

- 類 別 個体群 (群落コード:4502)
- 位 置 羽咋市柴垣町 (メッシュコード:5536-36-10、20~21)
- 選定理由 オミナエシの海岸型で、北海道から本州の海岸に分布するが本県ではここだけに分布し、種の分化の観点から学術上重要な群落とされている。
- 保護管理 保護管理状態:1 壊滅。 保護対策の緊急性:(記載なし) クロマツ植林(保安林)内に点在していたのだが、クロマツがほとんど枯死し、それによる環境の変化が心配されており、個体維持も含めて注視すべきである。
- 特記事項 能登半島国定公園、保安林、特定植物群落(対照番号:36)(本多郁夫)
補充調査(Google Earth 2020による判読等):周辺の立地環境は整備されたが半自然的相観は失われた。開発行為等の人間活動も認められない。2010年版の評価を変更。閲覧日:2020年8月11日
(主任調査員)

114 犀川源流地域のブナ林

相観による群落名	冷温帯森林植生ほか Cool-temperate forests +
種組成による群落名	チシマザサ-ブナ群団ほか Saso-Fagion crenatae Miyawaki Ohba et Murase 1965 +

- 類 別 群落複合(群落複合コード:03)
- 位 置 金沢市(メッシュコード5436-45~46)
- 選定理由 胸高直径40~60cmもある樹齢の高いブナの自然林を主体とし、付随する山地針葉樹林、山地峡谷林、山地溪畔林、山地高茎広葉草本植物群落などを含む。多様性に富み、その面積も300ヘクタールと抜群に大きい。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 犀川源流自然環境保全地域、犀川源流生物群集保護林、特定植物群落(対照番号:44) (白井伸和)
補充調査(Google Earth 2020による判読等):犀川源流の月ヶ原山、大門山、見越山、奈良岳;見越山、高三郎山に囲まれ山地帯に立地する主要な樹林で、倉谷川、二又川流域の主要部を占める。高度は360m~1550mの範囲で旧倉谷集落跡に近接して一部に小さなスギ植林が残存、自然林に近い状態にある。交通も稜線上の登山路と犀川ダム湖上の航路以外はなく、自然環境の変化や開発行為等は認められない。閲覧日:2020年8月8日
(主任調査員)

115 目附谷の自然植生

相観による群落名	冷温帯森林植生ほか Cool-temperate forests +
種組成による群落名	チシマザサ-ブナ群集ほか Saso-Fagion crenatae Ohba et Murase 1965 +

- 類 別 群落複合(群落複合コード:03)
- 位 置 白山市尾口地区(メッシュコード5436-25)
- 選定理由 ブナ林を主な内容とし、一部地形によってはサワグルミなどの溪谷林、クロベ・キタゴヨウ林などの岩角地植生、山地高茎草原などを伴うかなり広大な自然植生域である。
- 保護管理 保護管理状態:4 やや良。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 白山国立公園第3種特別地域、特定植物群落(対照番号:76) (白井伸和)
補充調査(Google Earth 2020による判読等):犀川源流の月ヶ原山、大門山、見越山、奈良岳;見越山、高三郎山に囲まれ山地帯に立地する主要な樹林で、倉谷川、二又川流域の主要部を占める。高度は360m~1550mの範囲で旧倉谷集落跡に近接して一部に小さなスギ植林が残存、自然林に近い状態にある。交通も稜線上の登山路と犀川ダム湖上の航路以外はなく、自然環境の変化や開発行為等は認められない。閲覧日:2020年8月8日
(主任調査員)

116 千丈平、清水谷のブナ林

相観による群落名	冷温帯森林植生ほか Cool-temperate forests +
種組成による群落名	チシマザサ-ブナ群団ほか (特記事項欄に記載)

- 類 別 群落複合(群落コード:03)
- 位 置 白山山系の大笠山、笈ヶ岳、千丈平、清水谷、水晶谷に取り囲まれた緩斜面(メッシュコード:5436-36)
- 選定理由 原生林に近いブナ林を中核とした多様な植物群落(チシマザサ群落(II)、ミドリユキサザ-ダケカンバ 群団、シナノキンバイ-ミヤマキンボウゲ群団など)の複合体で、日本海側山地のブナクラス域を代表する景観を有し、森林内にはカモシカ、ツキノワグマ、ニホンザルなどの大型哺乳類が生息するなど、生物多様性に富む。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 Saso-kurilensis-Fagegion crenatae Miyawaki, Ohba et Murase 1964 +, 白山国立公園特別保護地区・第3種特別地域、特定植物群落(対照番号:47)
補充調査(Google Earth 2020による判読等):尾添川の支流雄谷上流の平坦斜面「千丈平」に立地するブナ林で、大笠山の南西、笈ヶ岳の北西に位置し、水晶谷とその支流シンノ又谷に囲まれている。高度は1100m~1700mの範囲にある。大部分はブナ林が占めるが、約1480m以上は、低地・平坦面や溪谷には遅くまで残雪がみられる。残雪地はササ群落が優占し、ダケカンバ林に移行する。溪谷斜面は裸地あるいは山地高茎草原が立地する。2010年版の評価を維持。閲覧日:2020年8月4日
(古池 博)

117 白山山頂部の風衝地植生

相観による群落名 風衝植生
Wind-swept vegetation

種組成による群落名 ミヤマタネツケバナ群集ほか
Cardaminetum nipponicae Ohba 1969 +

- 類 別 群落複合 (群落複合コード: 05)
- 位 置 白山の御前峰～大汝峰付近 (メッシュコード: 5436-16-91,81; 5436-26-00) の稜線付近
- 選定理由 風衝地に立地し高山風衝矮生低木群落、高山風衝草原、高山荒原植物群落などよりなる。イワギキョウが優占するミヤマタネツケバナ群集など疎らな植物群落で分布域も狭く貴重である。
- 保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。
- 特記事項 白山国立公園特別保護地区、特定植物群落 (対照番号: 53)
補充調査 (Google Earth 2020による判読等): 自然環境に変化は認められない。登山路が通過、または近傍に位置するので、引き続き、保全上注意を払う必要がある。
2010年版の評価を維持。閲覧日: 2020年8月4日 (主任調査員)

118 眉丈山の湿地植生

相観による群落名 中間・低層湿原植生
Intermediate mires and fen

種組成による群落名 ホシクサ類-コイヌノハナヒゲ群団 (貧栄養湿原植物群落)
Eriocaulo-Rhynchosporion fujiiiani K.Fujiwara 1979

- 類 別 群落複合 (群落複合コード: 11)
- 位 置 羽咋市 (秘) (メッシュコード: 秘)
- 選定理由 貧栄養湿原に特有のミミカキグサ類などの食虫植物やトキソウ、サギソウなどの植物が生育している湿地が、僅かではあるが、まだ残存している。また、アギナン、タニヘゴなどの絶滅危惧植物が生育する湿地もいくつか見られる。
- 保護管理 保護管理状態: 2 劣悪。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 開発や開発中断、その後の放置及び自然遷移などにより、生育環境が極度に狭められている。湿地周辺の植生を含めた広域エリアの保護対策が望まれる。
- 特記事項 能登半島国定公園第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 38) (小野ふみゑ)

119 堀松・矢蔵谷・大津の湿地植生

相観による群落名 中間・低層湿原植生
Intermediate mires and fen

種組成による群落名 ホシクサ類-コイヌノハナヒゲ群団 (貧栄養湿原植物群落)
Eriocaulo-Rhynchosporion fujiiiani K.Fujiwara 1979

- 類 別 群落複合 (群落複合コード: 11)
- 位 置 羽咋郡志賀町堀松、矢蔵谷、大津の3地点を結んでできた三角形の地域 (メッシュコード: 5536-46)
- 選定理由 全国的に激減している貧栄養湿原植物群落で、貴重な湿地の植物が生育する。
- 保護管理 保護管理状態: 1 壊滅。 保護対策の緊急性: ()
- 特記事項 該当地周辺は別荘地の開発、ゴルフ場、農業用水のため池改修などのため、環境変化が著しく、1985年12月21日付けで志賀町天然記念物指定も解除されている。特定植物群落 (対照番号: 30) (小野ふみゑ)

120 増穂ヶ浦の海浜群落

相観による群落名 砂浜植生
Sand-dune-vegetation

種組成による群落名 ハマゴウ-ハイネズ群集ほか
(特記事項欄に記載)

- 類 別 群落複合 (群落複合コード: 20)
- 位 置 羽咋郡志賀町増穂ヶ浦 (メッシュコード: 5536-55-67, 68, 76, 77)
- 選定理由 県下で急激に減少している砂丘の自然植生が、ある程度の面積を保って維持されている貴重な区域である。特に、ハイネズ群落は県内随一である。
- 保護管理 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 砂丘地内をサイクリング道路が貫通し、他から持ち込まれた植物が植栽されるなど、人為的にかく乱が著しい。早急な対策が必要である。
- 特記事項 Vitci rotundifoliae-Juniperetum conefertea (Yano 1962) Ohba. Miyawaki et Tx.1973+
能登半島国定公園第2種特別地域、特定植物群落 (対照番号: 116) (本多郁夫)

121 海士岬の海浜植生

相観による群落名 塩生湿地植生 砂浜植生ほか
Salt-marsh vegetation + Sand-dune v. +

種組成による群落名 ウミミドリ-チシマドジョウツナギ オーダーほか
(特記事項欄に記載)

- 類 別 群落複合・・・シオクグ群集、ドロイ群集、シバナ群落、アイアシ群集、スナビキソウ-ハマニンニク群集、チガヤ-ハマゴウ群集、ネザサ-ススキ群集 (群落複合コード: 21+)
- 位 置 羽咋郡志賀町西海千ノ浦から赤崎までの海岸 (メッシュコード: 5536-55-64, 63,73, 83,93,94)
- 選定理由 塩生湿地植物群落、海浜草本群落、海岸低木林などが規則的に配列する群落系列が典型的であるとともに、シバナ群落の本県における代表的な立地地点である。
- 保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 対策必要。 漂着したごみが大量に堆積し、植生への影響は多大である。影響の大きいものから順次焼却処分等対策を講ずべきである。
- 特記事項 *Glauceto -Puccinellietalie kulilensis* Miyawaki et Ohba 1965+
能登半島国定公園 (部分)、特定植物群落 (対照番号: 663)

(本多郁夫)

122 上野の塩湿地植生

相観による群落名 塩生湿地植生ほか
Salt-mash vegetation+

種組成による群落名 ウミミドリ-チシマドジョウツナギオーダー
(特記事項欄に記載)

- 類 別 群落複合・・・ドロイ群集、シオクグ群集、ウミミドリ群落 (群落複合コード: 21)
- 位 置 羽咋郡志賀町上野 上野漁港付近 (メッシュコード: 5536-45-29)
- 選定理由 本県でウミミドリの唯一の生育地であり、全国的には分布の南限である。
- 保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 3 対策必要。 生育地で漂流ごみの焼却が行なわれ、船着き場が設置されるなど、かなり破壊された。その後、ウミミドリ群落をはじめ他の群落も、現在、ある程度回復している。しかし、ごみの処分については、緊急で継続的な対策が必要である。
- 特記事項 *Glauceto Puccinellietalia kulilensis* Miyawaki et Ohba 1965
志賀町指定天然記念物、特定植物群落 (対照番号: 64)、石川県希少種保全推進員年間活動報告書 (2018)

(高木政喜)

123 シャク崎の海浜植生

相観による群落名 塩生湿地植生
Salt-mash vegetation +

種組成による群落名 ウラギクラス
Asteretea tripolinm Westhoff et Beeftnk 1962 +

- 類 別 群落複合 (群落コード: 31+)
- 位 置 珠洲市折戸町 (メッシュコード: 5637-22-31)
- 選定理由 岩礁海岸に成立している塩生湿地草原および、その背後地に系列をなして立地する海岸群落群で、石川県では比較的人為的な影響を受けていない貴重な群落である。近年、塩生湿地草原が劣化する傾向がある。
- 保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 多量の漂流物による海浜植生への影響が懸念される。1996年に大規模かつ重度の重油汚染があったが、現在その影響はほとんど感じられなくなっている。
- 特記事項 特定植物群落 (対照番号: 6)

(大畑 弘)

124 飯田湾の海草群落

相観による群落名 アマモ群落ほか
Zostera marina community+

種組成による群落名 アマモクラス
Zosteretea marinae Pignatti 1953

- 類 別 群落複合・・・アマモ群集、コアマモ群集、スゲアマモ群集、タチアマモ群集、ノトウミヒルモ群集 (群落コード: 32)
- 位 置 珠洲市長手崎から内浦町赤碕までの沿岸 (メッシュコード: 5637-1239~5637-0221)
- 選定理由 石川県の代表的な藻場であり、現在残されている数少ない海草群落である。
- 保護管理 保護管理状態: 3 不良。 保護対策の緊急性: 4 緊急に対策必要。 今後の水質汚濁、埋め立て、浚渫、並びにこれから進行すると予想される海岸開発が懸念される。
- 特記事項 能登半島国定公園普通地域 (一部)。蛸島漁港より東の海域では、水深6m付近からアマモおよびコアマモ、ノトウミヒルモ、スゲアマモの混生がみられる。コアマモは約10m、アマモとスゲアマモは16m以深でみられなくなるものの、タチアマモは14~24mで、ノトウミヒルモは全水深 (6~24m) で確認されている。蛸島漁港より西の海域では、おおむね10mまでタチアマモを除いた4種が生育する。
(東出幸真・池森貴彦)

125 九十九湾口の高草群落

相観による群落名 アマモ群落ほか
Zostera marina community+

種組成による群落名 アマモクラス
Zosteretea marinae Pignatti 1953

- 類 別 群落複合…アマモ群集、コアマモ群集、スゲアマモ群集、ノトウミヒルモ群集、タチアマモ群集 (群落コード:32)
- 位 置 能登町越坂、九十九湾口 (5537-71-59, 69)
- 選定理由 石川県の代表的な藻場の一つである。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。 今後、水質汚濁、埋め立て、浚渫、並びにこれから進行すると予想される海岸開発が懸念される。
- 特記事項 能登半島国定公園普通地域。水深の浅い場所から、コアマモ、アマモ、スゲアマモ、タチアマモとゆるやかな帯状分布がみられ、ノトウミヒルモはその中に混生する。タチアマモは、石川県では今のところ九十九湾口と飯田湾の蛸島漁港より東の海域だけでみつまっている。

(東出幸真・池森貴彦)

126 七尾湾の高草群落

相観による群落名 アマモ群落ほか
Zostera marina community+

種組成による群落名 アマモクラス
Zosteretea marinae Pignatti 1953

- 類 別 群落複合…アマモ群集、コアマモ群集、スゲアマモ群集、ノトウミヒルモ群集 (群落コード:32)
- 位 置 七尾市田浦鼻からトガ埼にいたる七尾北湾沿岸 (メッシュコード:5536-46-4;5536-47-3;5536-56-2, 5536-57, 5537-50-1;5537-50-3;5537-60-1)
- 選定理由 石川県の代表的な藻場で、貴重な存在である。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。 今後、水質汚濁、埋め立て、浚渫、並びにこれから進行することが予想される海岸開発が懸念される。
- 特記事項 能登半島国定公園普通地域。七尾西湾に生育するアマモは、単年生となることが観察されている。

(東出幸真・池森貴彦)

127 夕日寺菅原神社のウラジロガシ林

相観による群落名 ウラジロガシ群落
Quercus salicina community

種組成による群落名 ヒメアオキ-ウラジロガシ群集
Aucubo-Quercetum salicinae Sasaki 1958

- 類 別 単一群落 (群落コード:0104)
- 位 置 金沢市夕日寺町 (メッシュコード:5436-65-86)
- 選定理由 社殿の東側斜面に立地。面積は狭いが、高木層のウラジロガシの被度は大きく、低木層はヤブツバキ、ヒサカキ、ヒメアオキが占めているヒメアオキ-ウラジロガシ群集である。草本層にはカラタチバナ、ヤブコウジが構成に加わっており、加賀中央部では、より温暖な種構成を有する群落である。
- 保護管理 保護管理状態:3 不良。 保護対策の緊急性:4 緊急に対策必要。 亜高木層にモウソウチクが侵入していたが、除去作業が行われて現在は存在していない。集落に接続して立地しているので、持続的な保全管理体制が必要。
- 特記事項 なし

(古池 博)

128 チブリ登山道のトチノキ林

相観による群落名 トチノキ群落
Aesculus turbinata Community

種組成による群落名 ジュウモンジシダ-サワグルミ群集
(特記事項欄に記載)

- 類 別 単一群落 (群落コード:0420)
- 位 置 白山市市ノ瀬の登山路別山道入口付近で柳谷川左岸管理道路と別山道に挟まれた山麓斜面約2ヘクタールの区域 (標高913m~950m)、索引番号63「チブリ尾根のサワグルミ林」より約100m下方、(メッシュコード:5436-15-37)。
- 選定理由 組成的にはサワグルミ林であるが平坦面に立地する傾向がある。トチノキがある程度優占する群落で、狭義にはジュウモンジシダ-トチノキ群集 *Polysticho-Aesculetum turbinatae* Horikawa et Sasaki 1959のシノニムとする解釈が可能。以前、この地域のトチノキには樹木ごとに枿の実を優先的に収穫する管理者を慣行として定めていたとされるが、社会条件が変化した現在は居ないと思われる。そのため、半自然林状態から自然林状態に移したのが、現状と推定され、伝統的に育成された森林として評価される。同群落はトチノキの巨樹が優占する特有の相観を有し、よく保全されている。
- 保護管理 保護管理状態:5 良好。 保護対策の緊急性:1 要注意。
- 特記事項 *Polysticho-Pterocaryetum* Suz.-Tok. et al. 1956
白山国立公園第3種特別地域

(古池 博)

129

のオニバス

相観による群落名 オニバス群落
Euryale frox community種組成による群落名 オニバス群落
Euryale ferox -Gesellschaft

■類 別 個体群 (群落コード: 28xx)

■位 置 輪島市 (メッシュコード: 5636-06)

■選定理由 石川県のオニバスは、1950年代以前は河北潟周辺の用水路に多産し、水稲生産者より有害雑草と見なされてきた。しかし、河北潟干拓と周辺の水路整備、農業の機械化・化学化の進行により、同潟周辺においても確認できなくなった。その後、40年間余が経過したので、レッドデータブックカテゴリー (環境庁、1997) を準用したいわれレッドデータブック2000 (植物編) (いわゆる、2000年版) では、石川県の全体的視野から同種を「絶滅」と評価した。2010年版は、引き続き環境省 (1997) を準用したが、オニバスについては「情報不足DD」と評価を変更した。「絶滅」の評価を維持しなかったのは、同種は池底の埋没種子が長命であるため生存の可能性があることから、その「死滅」を確認すべきところ、その確認ができていなかったからである。ところが、2011年に当地の溜池で同種の生育が発見・確認された。同種の県内唯一の個体群である。近年、再び、展葉を見ないが2020年版では「絶滅危惧I類 (CR)」と評価している。

■保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 水稲栽培用の溜池 (個人所有) であるが、同溜池の上部と下部の田地はいずれも農耕を休止し (休耕田)、早晩、不要な施設として廃棄される可能性が高い。

■特記事項 現地調査データ: 石川県指定希少野生動物植物種 (植物) モニタリング調査年間報告書 (平成31年度 (2019)) 中のオニバス記載部分 (本多郁夫) (主任調査員)

130

のセンダイハギ

相観による群落名 センダイハギ群落
Thermopsis luinooides communitiy種組成による群落名 センダイハギ群落
Thermopsis luinooides -Gesellschaft

■類 別 個体群 (群落コード: 33xx)

■位 置 志賀町千浦 (メッシュコード: 5536-45-49)

■選定理由 汀線の内陸側に成立している海浜草本群落。汀線近くの貧栄養地では草原上に多数立地するが、海岸低木林化に伴い、群度が低下する。当該地では、ササが侵入しつつある海岸低木林内の第2層にササ、ハマダイコン、ボタンヅルなどとともに2・2で立地する個体群で、数百株が生育している。センダイハギは、県下では能登に産するが、近年、汀線近くに立地していた個体群が喪失し、稀産の存在になってきた。

■保護管理 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 1 要注意。 打ち上げられる海岸漂流物の散乱で、生育域が狭まっている。

■特記事項 特定植物群落 (対照番号: 63の一部 (海浜草本群落部分))

現地調査データ: 石川県指定希少野生動物植物種 (植物) モニタリング調査年間報告書 (平成31年度 (2019)) 中のサンダイハギ記載部分 (濱野一郎) (主任調査員)

131

のヒメヒゴタイ

相観による群落名 ヒメヒゴタイ群落
Sussurea pulchella community種組成による群落名 ヒメヒゴタイ群落
Sussurea pulchella -Gesellschaft

■類 別 個体群 (群落コード: 33xx)

■位 置 秘 (メッシュコード: 秘)

■選定理由 礫海岸の内陸に成立している海浜草本群落で、海岸低木林の前面に立地する草原に、アキカラマツなどと混生して、2程度の優占度を保持して生育する個体群である。石川県では稀産の貴重な群落である。

■保護管理 保護管理状態: 5 良好。 保護対策の緊急性: 1 要注意。

■特記事項 特定植物群落 (対照番号: 63の一部 (海浜草本群落部分))

現地調査データ: 石川県指定希少野生動物植物種 (植物) モニタリング調査年間報告書 (平成31年度 (2019)) 中のヒメヒゴタイ記載部分 (本多郁夫)

(主任調査員)

132

のトウカイコモウセンゴケ

相観による群落名 トウカイコモウセンゴケ群落
Drosera tokaiensis subsp. tokaiensis community種組成による群落名 トウカイコモウセンゴケ群落
Drosera tokaiensis subsp. tokaiensis -Gesellschaft

■類 別 個体群 (群落コード: 26xx)

■位 置 小松市 (メッシュコード: 5536-33)

■選定理由 石川県のトウカイコモウセンゴケは、丘陵地上の地表を剥ぎ取って作られた造成地や林道の切り通し斜面などの、新鮮で水分と日光の供給が十分で土壌形成が未熟な地面に、パイオニアとして立地することが多い。他の植物が侵入して腐食が蓄積、土壌形成・栄養化が進み、また、上方が鬱閉して日陰となると絶滅する。県下では数か所の生育地が知られているが、遷移に緩急はあるがすべて同様な経過をたどっている。当該地では、もともと、赤土上に立地しているものであるが、自然保護団体が草刈りによって侵入する植物を除去し、裸地に近い環境を維持している区域に限定して立地・存続しているものである。土壌形成が未熟な環境を選択して移動する本種の特異性と極度の稀産性に注目するとともに、人間活動の留意すべき一例として選定した。

■保護管理 保護管理状態: 4 やや良。 保護対策の緊急性: 1 要注意。

■特記事項 現地調査データ: 石川県指定希少野生動物植物種 (植物) モニタリング調査年間報告書 (平成31年度 (2019)) 中のトウカイコモウセンゴケ記載部分 (古池博・中野真理子) (主任調査員)

(5) 調査結果の統計

保安全管理状態

調査群落の個別情報については、具体的群落ごとに記載したが、中心的課題である保安全管理状態を、表2、表3に統計としてまとめた。

表2 保護管理状態（類別ごとの件数＝群落数）

	年次	1 壊滅	2 劣悪	3 不良	4 やや良	5 良好	計
単一群落	2020	6	5	17	38	30	96
	2010	3	6	16	50	21	96
	2000	2	5	13	50	26	96
個体群	2020	3	2	1	5	6	17
	2010	1	2	1	7	6	17
	2000	1	2	2	6	6	17
群落複合	2020	1	1	4	5	2	13
	2010	1	1	4	5	2	13
	2000	1	1	5	4	2	13
小計*	2020	10	8	22	48	38	126
	2010	5	9	21	62	29	126
	2000	4	8	20	60	34	126
新規追加**	2020	0	0	1	2	3	6
	2010	0	0	0	0	0	0
	2000	-	-	-	-	-	-
計***	2020	10	8	23	50	41	132
	2010	5	9	21	62	29	126
	2000	4	8	20	60	34	126

*：2000版、2010年版、2020年版に共通して掲載した群落のみ

**：2020版に新規追加して掲載した群落のみ

***：*に**を加算

表3 保護管理状態（%表示＝類別ごとの群落割合）

	年次	1 壊滅	2 劣悪	3 不良	4 やや良	5 良好	計
単一群落	2020	6.3	5.2	17.7	39.6	31.3	100
	2010	3.1	6.3	16.7	52.1	21.9	100
	2000	2.1	5.2	13.5	52.1	27.1	100
個体群	2020	17.6	11.8	5.9	29.5	35.3	100
	2010	5.9	11.8	5.9	41.2	35.3	100
	2000	5.9	11.8	11.8	35.3	35.3	100
群落複合	2020	7.7	7.7	30.8	38.5	15.4	100
	2010	7.7	7.7	30.8	38.5	15.4	100
	2000	7.7	7.7	38.5	30.8	15.4	100
小計*	2020	7.9	6.3	17.5	38.1	30.2	100
	2010	4.0	7.1	16.7	49.2	23.0	100
	2000	3.2	6.3	15.9	47.6	27.0	100
新規追加**	2020	0	0	16.7	33.3	50.0	100
	2010	-	-	-	-	-	-
	2000	-	-	-	-	-	-
計***	2020	7.5	6.1	17.4	37.9	31.1	100
	2010	4.0	7.1	16.7	49.2	23.0	100
	2000	3.2	6.3	15.9	47.6	27.0	100

*：2000版、2010年版、2020年版に共通して掲載した群落のみ

**：2020版に新規追加して掲載した群落のみ

***：表2の*に同表**を加算して、再計算

新たな対策の緊急性

同様に新たな対策の緊急性に係る統計を、表4、表5にまとめた。

表4 新たな対策の緊急性（類別ごとの件数＝群落数）

類別	年次	- 無記入****	4 緊急に 対策必要	3 対策必要	2 破壊の危険	1 要注意	計
単一群落	2020	2	5	20	15	54	96
	2010	0	5	22	22	47	96
	2000	0	1	16	24	55	96
個体群	2020	3	1	2	6	5	17
	2010	0	3	3	8	3	17
	2000	0	1	4	8	4	17
群落複合	2020	1	3	3	0	6	13
	2010	0	3	5	0	5	13
	2000	0	5	3	2	3	13
小計	2020	6	9	25	21	65	126
	2010	0	11	30	30	55	126
	2000	0	7	23	34	62	126
新規追加	2020	0	1	0	0	5	6
	2010	0	0	0	0	0	0
	2000	-	-	-	-	-	-
計	2020	6	10	25	21	70	132
	2010	0	11	30	30	55	126
	2000	0	7	23	34	62	126

****：表3、4で壊滅の場合で、「新たな対策の緊急性」欄に記載がないもの。担当者が、壊滅の様態・程度から判断して、現状では新たな対策が考えられない、と考えた場合である。

表5 新たな対策の緊急性（%表示＝類別ごとの群落割合）

類別	年次	- 無記入****	4 緊急に 対策必要	3 対策必要	2 破壊の危険	1 要注意	計
単一群落	2020	2.1	5.2	20.8	15.6	56.3	100
	2010	0	5.2	22.9	22.9	49.0	100
	2000	0	1.0	16.7	25.0	57.3	100
個体群	2020	17.6	5.9	11.8	35.3	30.0	100
	2010	0	17.6	17.6	47.1	17.6	100
	2000	0	5.9	23.5	47.1	23.5	100
群落複合	2020	7.6	23.1	23.1	0.0	46.2	100
	2010	0.0	23.1	38.5	0.0	38.5	100
	2000	0.0	38.5	23.1	15.4	23.1	100
計	2020	4.8	7.1	19.8	16.7	51.6	100
	2010	0.0	8.7	23.8	23.8	43.7	100
	2000	0.0	5.6	18.3	27.0	49.2	100
新規追加	2020	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	100
	2010	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
	2000	-	-	-	-	-	-
計	2020	4.5	7.6	18.9	15.9	53.0	100
	2010	0.0	8.7	23.8	23.8	43.7	100
	2000	-	5.6	18.3	27.0	49.2	100

****：表3、4で壊滅の場合で、「新たな対策の緊急性」欄に記載がないもの。担当者が、壊滅の様態・程度から判断して、現状では新たな対策が考えられない、と考えた場合である。

(6) 結 び

今回の調査結果を、表2～表5に総括的にまとめた。調査対象とした群落は2020年度版で132件であるが、うち、126件の大部分は1978年に石川県下の重要群落を調査し、特定群落として指定されたものである（環境庁、1978）。なお、一部はその後の追加調査により追加されたもの、その他を含んでいる（環境庁、1988）。この126件は、2000年度版より、共通の調査対象となった具体的群落である。しかし、いしかわレッドデータブック2000〈植物編〉が刊行されたのは、文字通り2000年のことであるから、1978年以降すでに、約20年が経過していたことになる。それから、さらに20年が経過した次第であるから、2020年版には約40年余の具体的群落の観察結果が掲載されていることになる。なお、2020年版では、今後を考慮して新たに6件を追加し、132件とした。

2020年調査を表2、表3で概観すると、**保護管理状態**では（壊滅+劣悪+不良）：（やや良+良好）=41件：91件=31.0%：69.0%である。重要群落の30%強が、否定的な評価を受けていることは注目に値する。

また、**あらたな対策の緊急性**では、（無記入+緊急に対策必要+対策必要+破壊の危険）：（要注意）=62件：70件=46.9%：53.0%である。要注意は、約50%強にとどまり、残り半数は何らかの対策が必要なことを示している。特記すべきは無記入で、これは状態が悪すぎて対策の立案が不能との判断である。

時間的な変化は表2、表3の小計欄（壊滅）に顕著である。**壊滅**については、2000年：2020年=4件：10件=3.2%：7.9%と倍増、**良好**については、2000年：2020年=34件：38件=27.0%：30.2%と微増しているが、壊滅の方が、はるかに増加率が高い。

これを要するに、石川県の特定群落を中心とする重要群落は、悪化しつつあるということである。

類別間の相違は今後、検討すべき事実を明らかにしている。表3の**壊滅**の比率を比較すると、単一群落や群落複合に比較して、個体群の割合とその増加率が顕著に大きい。ちなみに、個体群の壊滅（%表示）は2020年次の数字（新規追加を含まない）で17.6%であるが、単一群落では6.3%、群落複合では7.7%にすぎない。もっとも、この比率のもとになる件数は少ないので、この比率の差が偶然である可能性も大きい。

個体群は植物種の群落を抽出したものであるが、一般論として、植物種はある植物群落の構成に加わるとともに、その植物群落は植物種にとって、最も強力な作用（反作用）を及ぼす環境でもある。したがって、この解析は植物種と植物群落の絶滅の接点に迫る意義を有し、そのメカニズムの解明はこの分野の進展に寄与するものと思われる。2020年版で新規追加した6群落のうち、4群落を個体群とした理由の一つは、この点を考慮したものである。

調査の実施状況の反省点であるが、前回（2010年版）までは全件の野外調査が実施できたが、今回は実施できなかったものがある。実施できなかった理由として主なものは、下記の二つである。

その第一は、現地調査に着手したが、登山路・管理道路の喪失・荒廃により対象群落に到達できなかったものである。これは補充調査やその一環としての映像判読や他の調査資料により、できるだけ、補うように努めたが最終的に映像判読では、解像度の点から判読不能の場合があった。

理由の第二は、上記のような地理的な理由ではなく、調査員がその他の理由により担当群落の現地調査の実施ができなかった場合である。これは、調査員の高齢化と関わっており、補充調査期間のゆとりのある設定をはじめ、検討すべき課題が残されている。

文 献

- 1) 環境庁（編）. 1979. 日本の重要な植物群落 北陸版、(II=石川県). 環境庁
- 2) 石川県環境部. 1986. 舩倉島・七ツ島の植生. 石川県
- 3) 環境庁（編）. 1988. 日本の重要な植物群落II 北陸版、(II=石川県). 環境庁
- 4) 環境庁（編）. 1988. 特定植物群落調査報告書 生育状況調査（石川県）. 環境庁
- 5) 環境庁（編）. 1988. 第3回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書（石川県）. 環境庁
- 6) 石川県（編）. 1995. 白山地域植生図及び同説明書. 石川県
- 7) 我が国における保護上重要な植物種および植物群落の研究委員会群落部会. 1996. 植物群落レッドデータブック（我が国における緊急な保護を必要とする植物群落の現状と対策）. 日本自然保護協会ほか.
- 8) 石川県植生誌編纂委員会. 1997. 石川県植生誌. 石川県
- 9) 石川県絶滅危惧植物調査会. 2000. 石川県の絶滅のおそれのある野生生物〈植物編〉—いしかわレッドデータブック—. 石川県環境部自然保護課
- 10) 舩倉島・七ツ島自然環境調査団. 2011. 舩倉島・七ツ島の自然環境. 北国新聞社.
- 11) 石川県絶滅危惧植物調査会. 2010. 改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック〈植物編〉. 石川県環境部自然保護課

関係者名簿

いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉(別冊 保護を要する植物群落) 執筆者(アルファベット順)

- 古池 博：概論・凡例・調査対象群落一覧・群落の個別の記載(担当部分)・調査対象群落の統計・結び・その他
- 本多 郁夫：群落の個別の記載(担当部分)
- 濱野 一郎：群落の個別の記載(担当部分)
- 東出 幸真・池森 貴彦：群落の個別の記載(担当部分)
- 垣内 信一：群落の個別の記載(担当部分)
- 中野真理子：群落の個別の記載(担当部分)
- 西井 武秀：群落の個別の記載(担当部分)
- 小野ふみゑ：群落の個別の記載(担当部分)
- 大畑 弘：群落の個別の記載(担当部分)
- 白井 伸和：群落の個別の記載(担当部分)
- 高木 政喜：群落の個別の記載(担当部分)
- 山田 利明：群落の個別の記載(担当部分)

いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉(別冊 保護を要する植物群落) 調査業務従事者名簿 (アルファベット順、役員は2018年度)

- 古池 博(主任調査員=代表、総括)
- 濱野 一郎(調査員、役員)
- 林 二良(調査員)
- 東出 幸真 のと海洋ふれあいセンター
- 本多 郁夫(調査員、役員)
- 池森 貴彦 石川県水産総合センター
- 垣内 信一(調査員)
- 古場田良次(調査員)
- 永坂 正夫(調査員)
- 中野真理子(調査員、役員=会計)
- 西井 武秀(調査員)
- 西岡 登(調査員)
- 野村外喜子(調査員)
- 小野ふみゑ(調査員、役員)
- 大畑 弘(調査員)
- 櫻木 成二(調査員)
- 白井 伸和(調査員、役員)
- 高木 政喜(調査員、役員)
- 俵 京子(調査員)
- 田屋 祐樹(調査員)
- 山田 利明(調査員、役員)
- 山森 茂(調査員)
- 米山 競一(調査員、役員)

上記は、石川県絶滅危惧植物調査会の会員（調査員）のうち、「いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉」の作成にあたり、この約10年間に実際に調査活動等に從事した調査員の名簿です。長期間にわたりますので、現在は故人となられた方や引退された方を含んでいます。

本会は、かつて日本植物分類学会が受託した国（環境庁）のレッドデータブック作成事業関連の現地調査において、石川県における現地調査を実施するため、1994年に設けられたものです。石川県が2000年に刊行した「いしかわレッドデータブック〈植物編〉2000」、2010年に刊行された「同改訂版〈植物編〉2010」の作成にあたっては、現地調査の実施、編纂、執筆などに従事しました。今回の「同2020〈植物編〉」でもその経験、ノウハウ、人材などの蓄積を生かし、組織を最小限度に改組して、作成にあたりました。会員は調査員として、植物種および植物群落の現地調査等に従事しました。役員は調査を担当するほか、各分類群・植物群落の調査について、それぞれ調査票の集約・検討、標本との照合、解析など編纂の業務と執筆を分担するとともに、会務をおこないました。

なお、本冊子「保護を要する植物群落」（各論）は、「いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉」の別冊として公表したものです。植物群落に関する調査・記述（別冊を含む）は、石川県絶滅危惧植物調査会の調査員が担当しました。

本書の内容に関する意見・連絡は、下記あてに送付されるようお願いいたします。

連絡先：〒920-1147 金沢市銚子町リ441番地 石川県自然史センター内

石川県絶滅危惧植物調査会

TEL：076-229-3450、229-3403 FAX：076-229-3460

事務所：〒921-8062 金沢市新保本2丁目14番地1

石川県絶滅危惧植物調査会 TEL&FAX 076-249-5204

石川県の絶滅のおそれのある野生生物
いしかわレッドデータブック2020〈植物編〉
（別冊 保護を要する植物群落）

令和3年3月31日発行

調査・編纂・執筆 石川県絶滅危惧植物調査会
編集・発行 石川県生活環境部自然環境課
〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076-225-1476
印刷 株式会社 大和印刷社
